

八潮市

市民活動状況調査報告書

令和5年1月
八潮市

目 次

第 1 章 調査実施の概要	1
第 2 章 調査の結果	2
【1】団体の概要について	2
【2】活動や運営の状況について	7
【3】八潮市の施策などについて	23
【4】市民活動支援コーナーについて	34
【5】新型コロナウイルス感染症の流行による影響について	39
【6】自由記述（市民活動の支援などについて）	44
参考 調査票	46

第 1 章 調査実施の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民活動団体の活動状況や課題となっていることについて把握し、市民活動の推進に資するため実施するものです。

2. 調査の概要

調査対象	令和 4 年度に、八潮市又は八潮市社会福祉協議会に市民活動又はボランティア活動の届け出をした団体及び個人の方
対象者数	194 件
調査方法	郵送配布し、回収は郵送又は FAX、回収ボックス（市内公共施設に設置）、Web 回答フォーム
回収数（率）	113 件(58.2%)
実施期間	令和 4 年 9 月 6 日～9 月 30 日

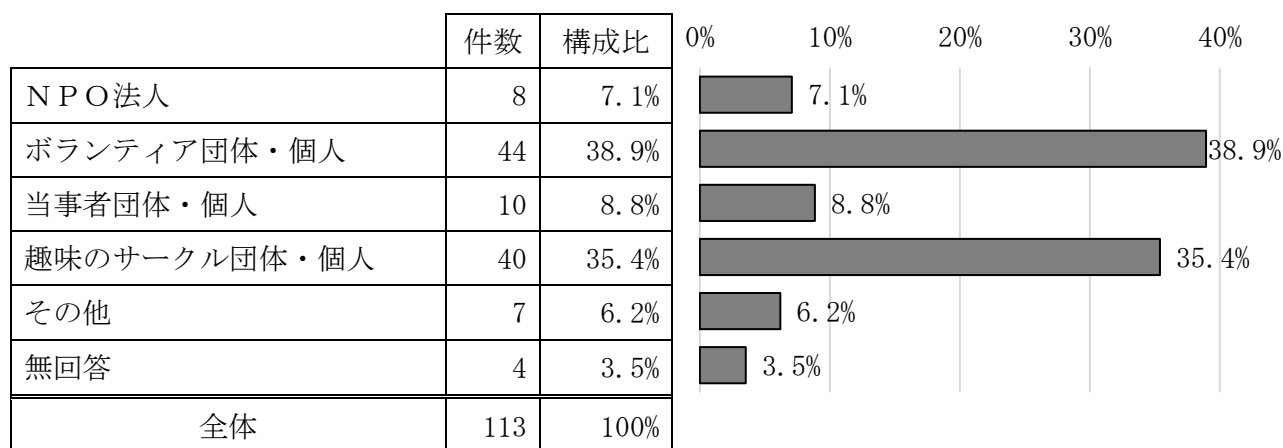
3. 報告書の見方

- ・回答数について、単一回答と複数回答の設問があるため、母数は必ずしも一致しません。また、複数回答の設問については、原則、有効回答のみを集計しています。
- ・一つの設問の回答結果を集計したものと、複数の設問の回答結果を集計（クロス集計）したものとがあります。クロス集計の結果は、背景が色塗りされた部分となります。

第2章 調査の結果

【1】団体の概要について

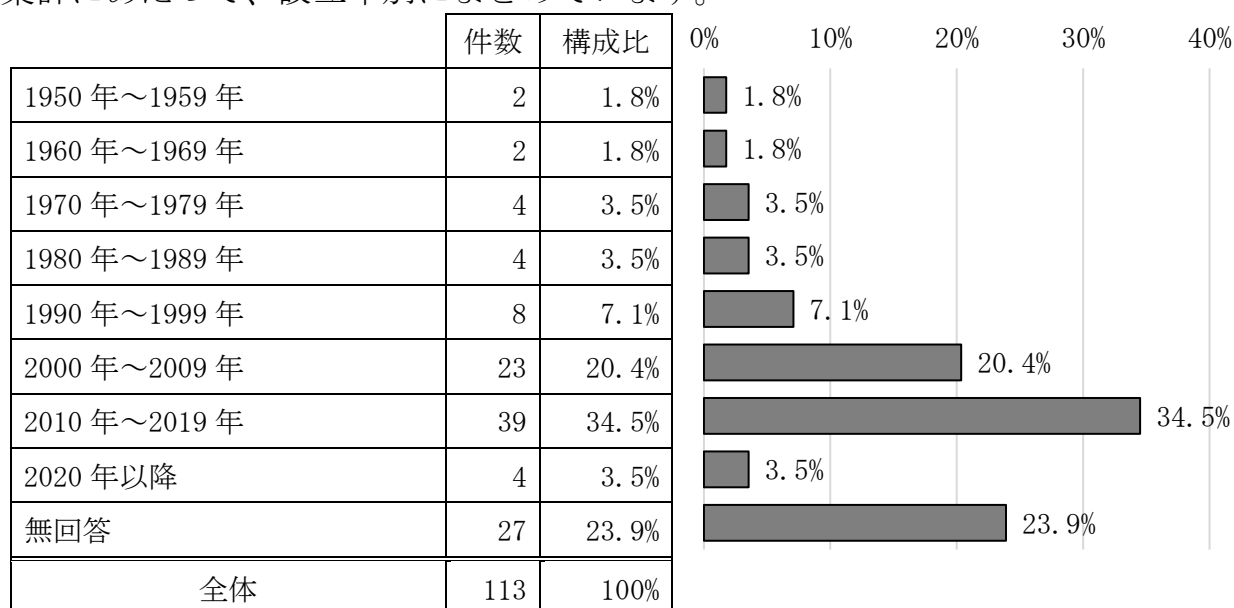
1. 活動形態



「その他」には、「更生保護」、「個人事業」、「八潮市第3層協議体」、「歌を通して健康維持」、「地域を明るい豊かな街にする活動」といった回答がありました。

2. 設立年月日

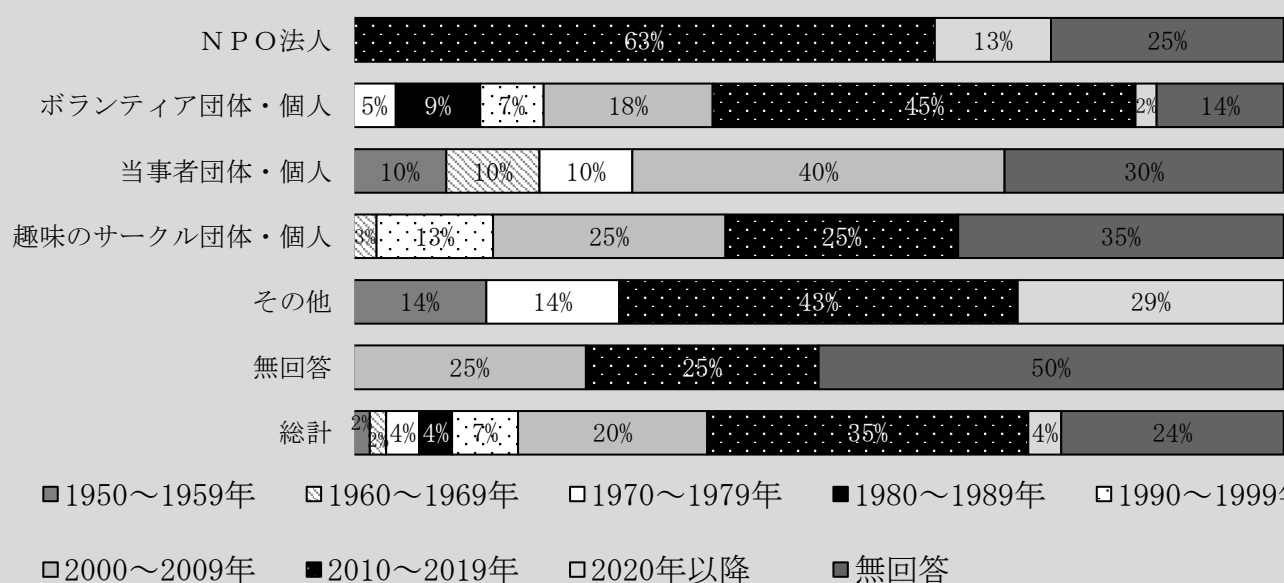
調査票では、設立の年月日について質問しました。
集計にあたって、設立年別にまとめています。



2. 設立年月日 (p. 2) と 1. 活動形態 (p. 2)

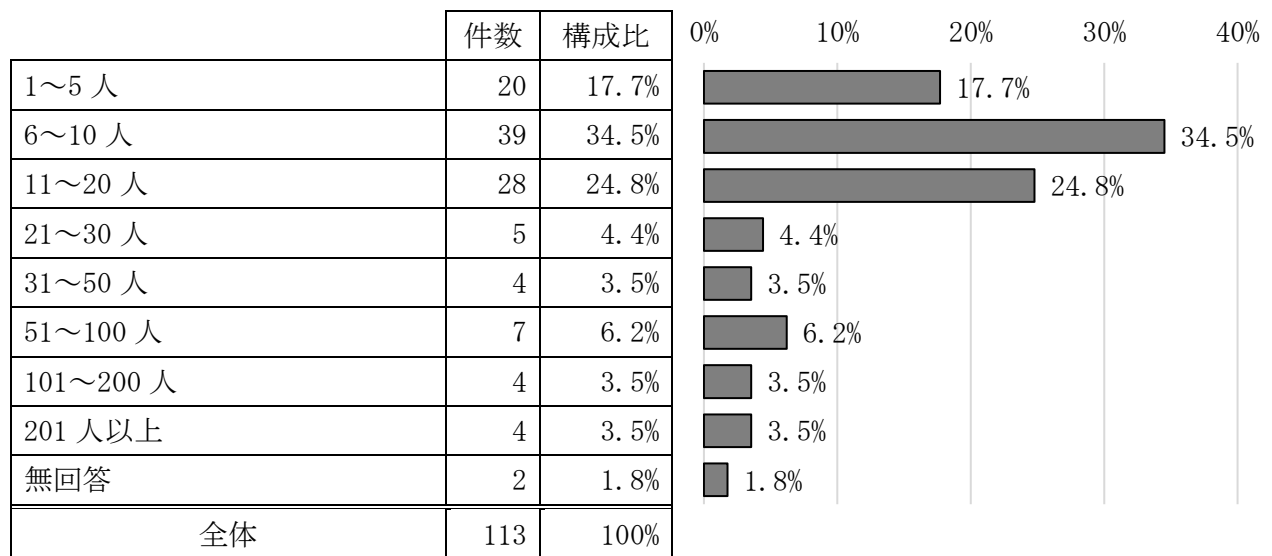
(件数)

	1950～ 1959 年	1960～ 1969 年	1970～ 1979 年	1980～ 1989 年	1990～ 1999 年	2000～ 2009 年	2010～ 2019 年	2020 年 以降	無回答	総計
NPO法人							5	1	2	8
ボランティア団体・個人			2	4	3	8	20	1	6	44
当事者団体・個人	1	1	1			4			3	10
趣味のサークル団体・個人		1			5	10	10		14	40
その他	1		1				3	2		7
無回答						1	1		2	4
総計	2	2	4	4	8	23	39	4	27	113



現在活動している団体のうち 54.9%が、2000 年から 2019 年にかけて設立しています。

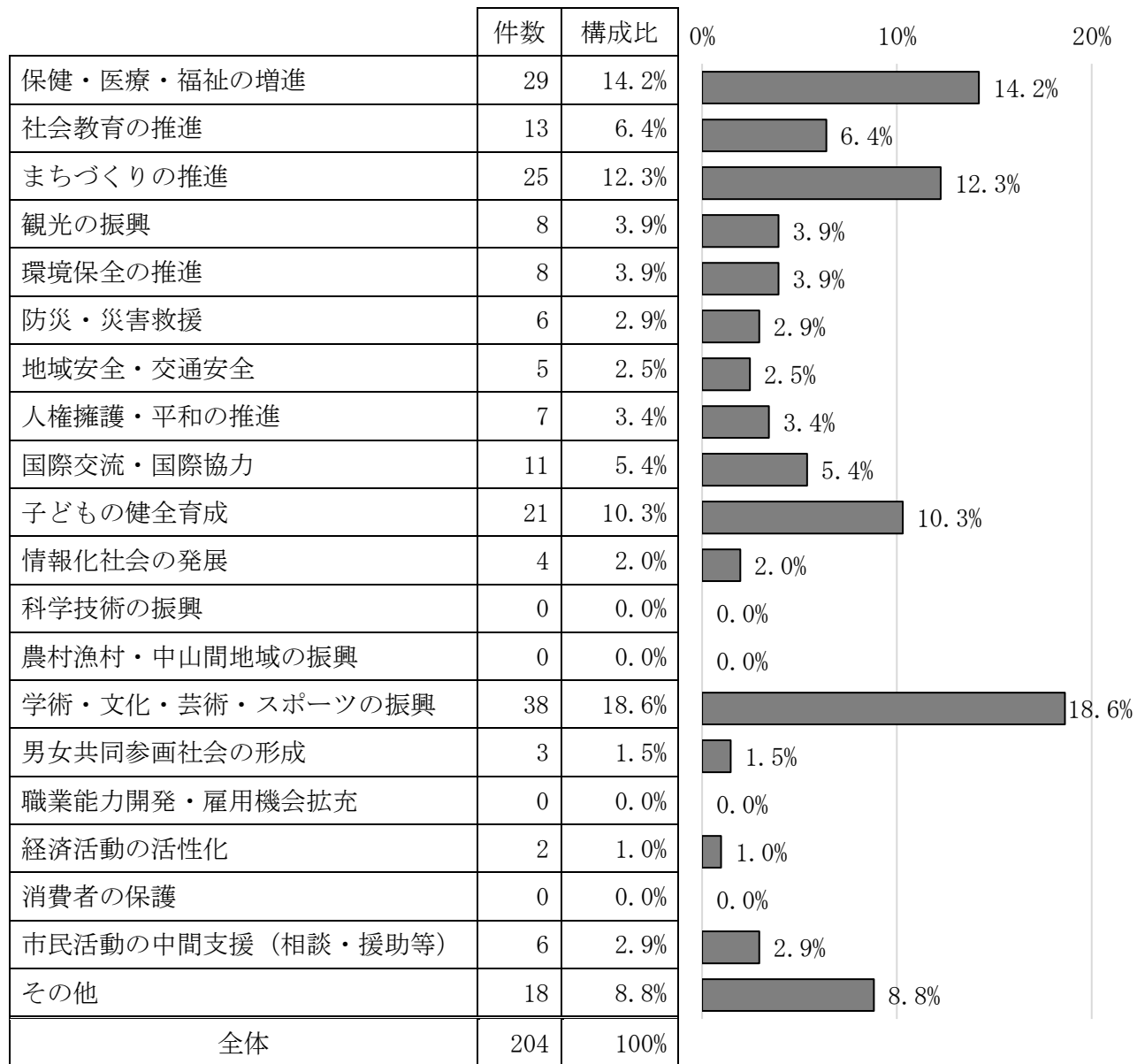
3. 会員構成



会員構成は、「6～10 人」が 34.5%と最も高く、次いで「11～20 人」が 24.8%、「1～5 人」が 17.7%と続きます。

回答者全体のうち、20 人以下の団体が 77%という結果となりました。

4. 活動分野（複数回答可）



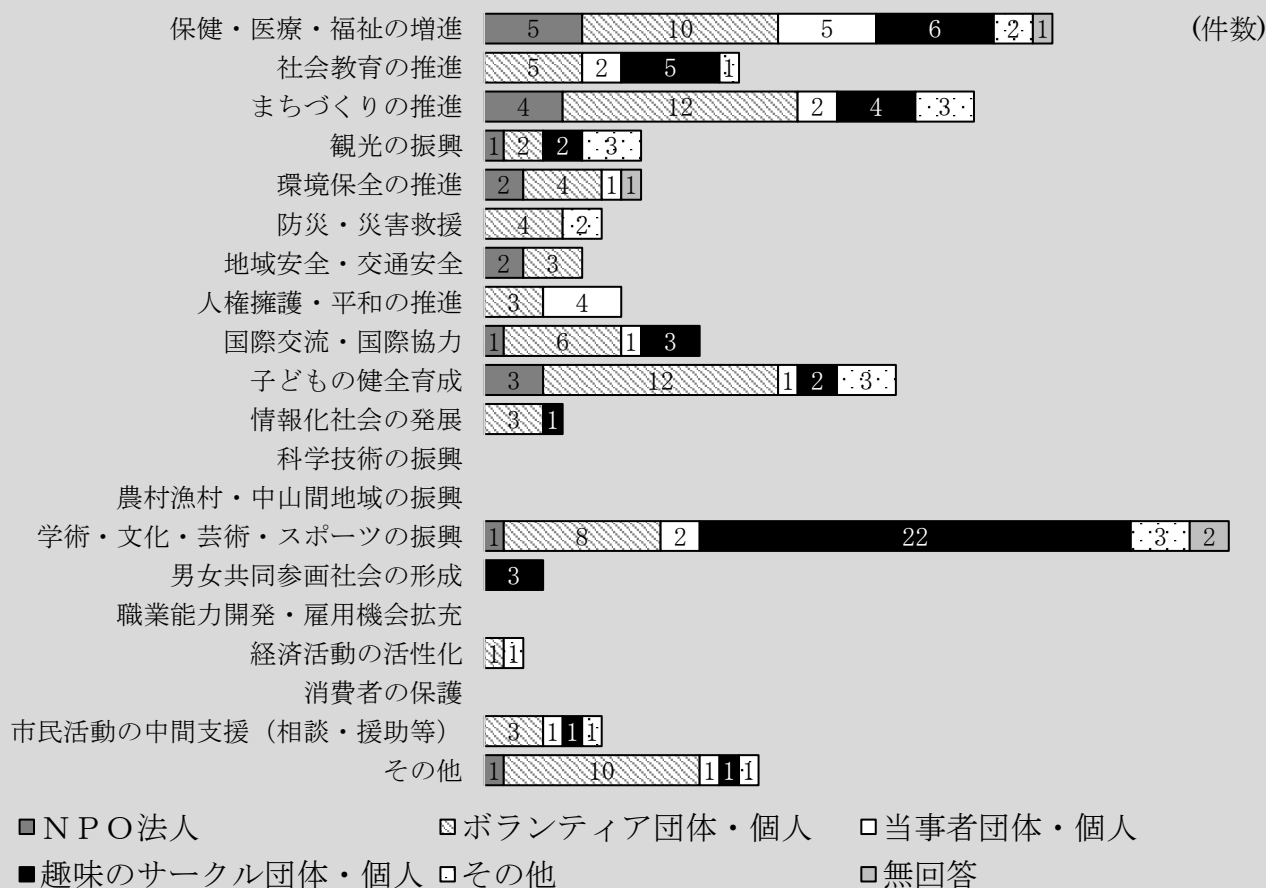
「その他」には、「更生保護」、「傾聴ボランティア」、「八潮市在住外国人の日本語学習の支援」、「子ども食堂、フードパントリー」、「手話の学習」、「動物愛護」、「趣味、娯楽」等といった回答がありました。

「学術・文化・芸術・スポーツの振興」が18.6%と最も高い結果となりましたが、これは回答者全体のうち「趣味のサークル団体・個人」が35.4%を占めるためと考えられます。

4. 活動分野(p. 5) と 1. 活動形態(p. 2)

(件数)

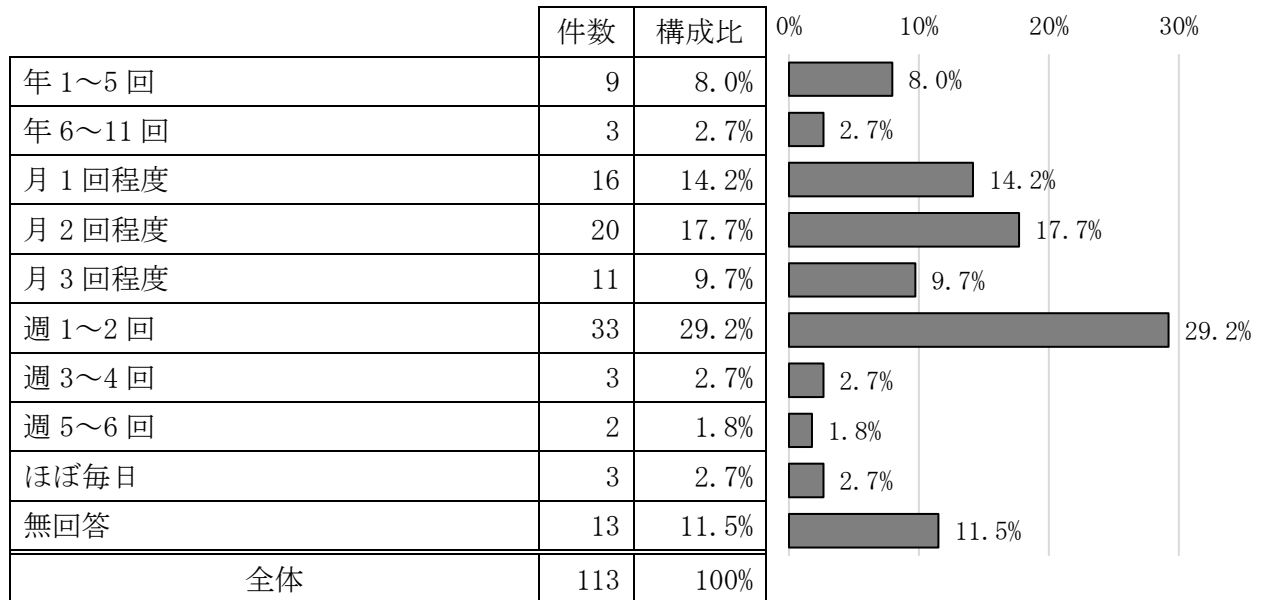
	N P O 法人	ボランティア 団体・個人	当事者 団体・個人	趣味の サークル 団体・個人	その他	無回答	総計
保健・医療・福祉の増進	5	10	5	6	2	1	29
社会教育の推進		5	2	5	1		13
まちづくりの推進	4	12	2	4	3		25
観光の振興	1	2		2	3		8
環境保全の推進	2	4	1			1	8
防災・災害救援		4			2		6
地域安全・交通安全	2	3					5
人権擁護・平和の推進		3	4				7
国際交流・国際協力	1	6	1	3			11
子どもの健全育成	3	12	1	2	3		21
情報化社会の発展		3		1			4
科学技術の振興							0
農村漁村・中山間地域の振興							0
学術・文化・芸術・スポーツの振興	1	8	2	22	3	2	38
男女共同参画社会の形成				3			3
職業能力開発・雇用機会拡充							0
経済活動の活性化		1			1		2
消費者の保護							0
市民活動の中間支援（相談・援助等）		3	1	1	1		6
その他	1	10	1	1	1		14
総計	20	86	20	50	20	4	200



【２】活動や運営の状況について

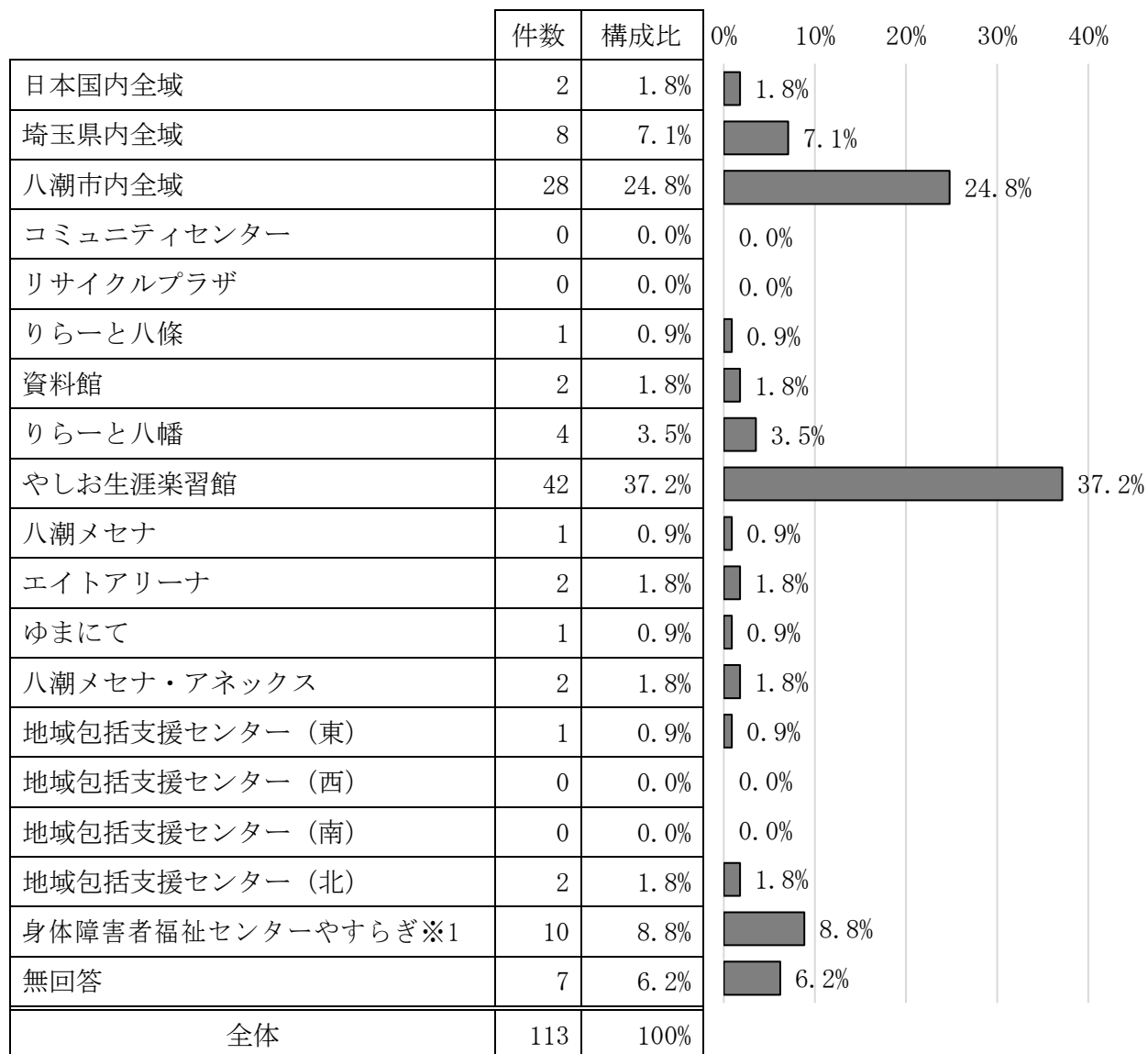
５．活動頻度

調査票では、活動の頻度について１年当たり又は１カ月当たり、１週間当たりの活動日数について質問しました。



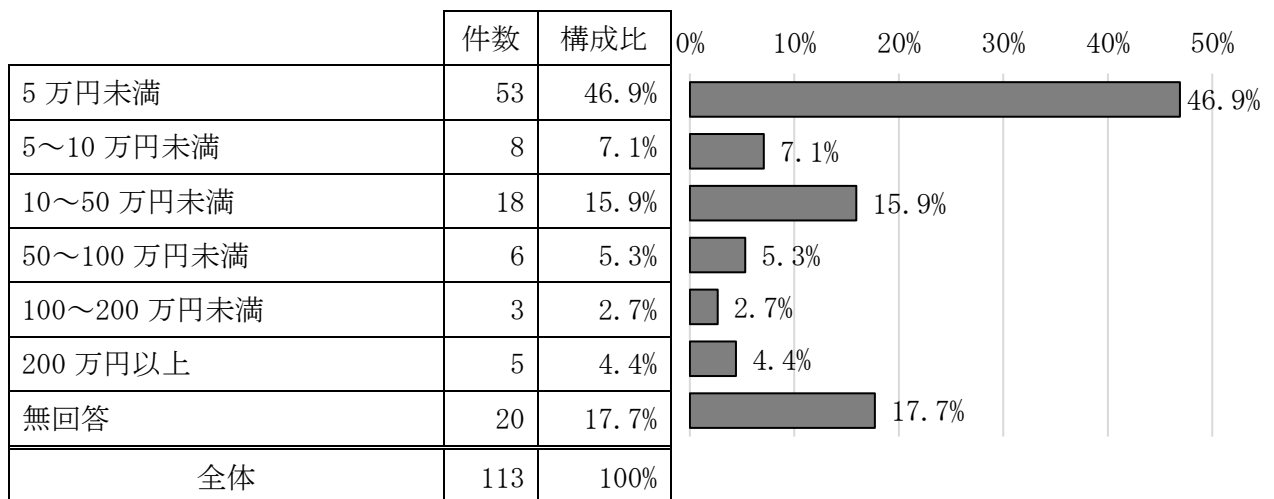
「週１～２回」が２９.２％と最も高く、次いで「月２回程度」が１７.７％、「月１回程度」が１４.２％と続きます。

6. 主な活動場所又は活動場所に最も近い公共施設



※1…八潮市社会福祉協議会・ボランティアセンター含む

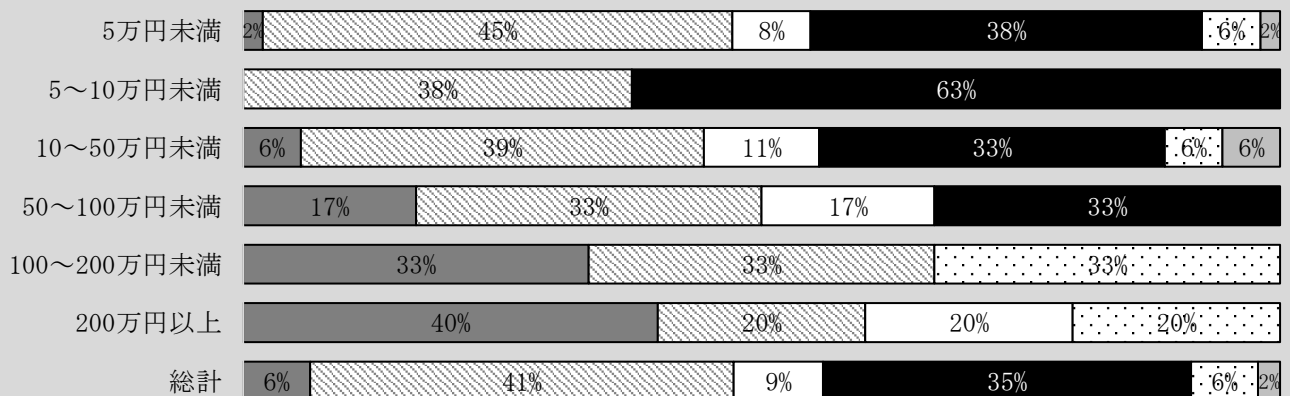
7. 令和3年度の決算額（支出総額）



「5万円未満」が46.9%と、回答者の約半数という結果となりました。

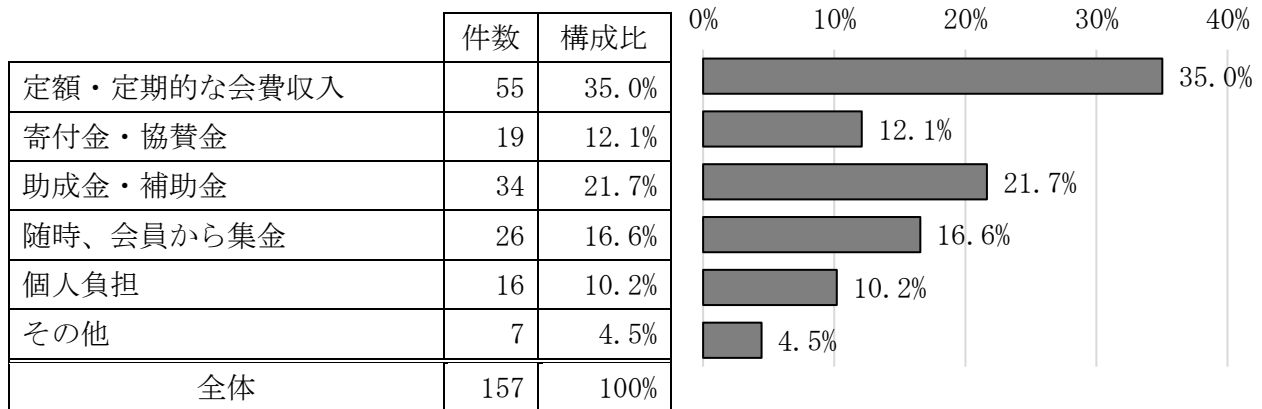
7. 令和3年度の決算額 と 1. 活動形態 (p. 2)

	(件数)						
	NPO法人	ボランティア団体・個人	当事者団体・個人	趣味のサークル団体・個人	その他	無回答	総計
5万円未満	1	24	4	20	3	1	53
5～10万円未満		3		5			8
10～50万円未満	1	7	2	6	1	1	18
50～100万円未満	1	2	1	2			6
100～200万円未満	1	1			1		3
200万円以上	2	1	1		1		5
総計	6	38	8	33	6	2	93



☒ NPO法人
 ☐ ボランティア団体・個人
 ☐ 当事者団体・個人
☒ 趣味のサークル団体・個人
 ☐ その他
 ☐ 無回答

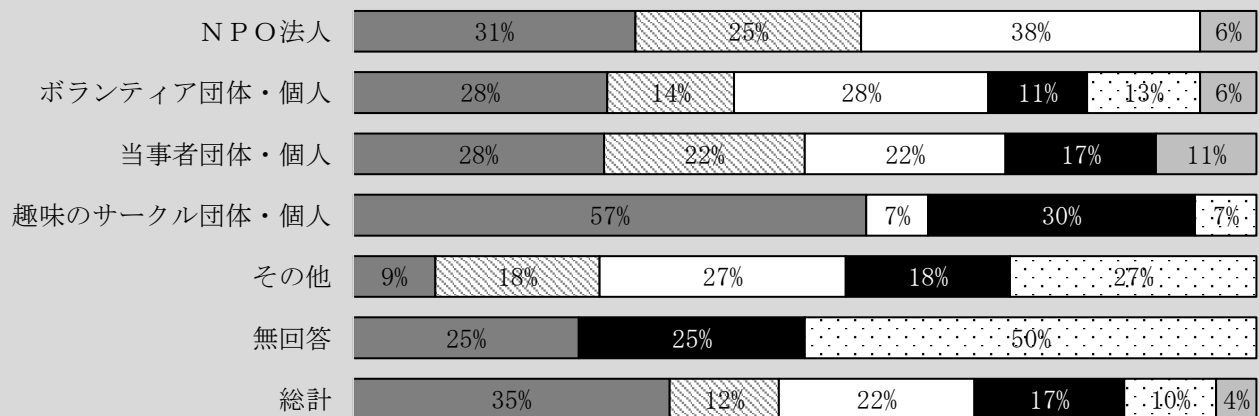
8. 令和3年度の予算の財源（複数回答可）



「その他」には、「参加者より参加費を徴収」、「事業収入」、「一部収益事業」、「物品販売」等といった回答がありました。

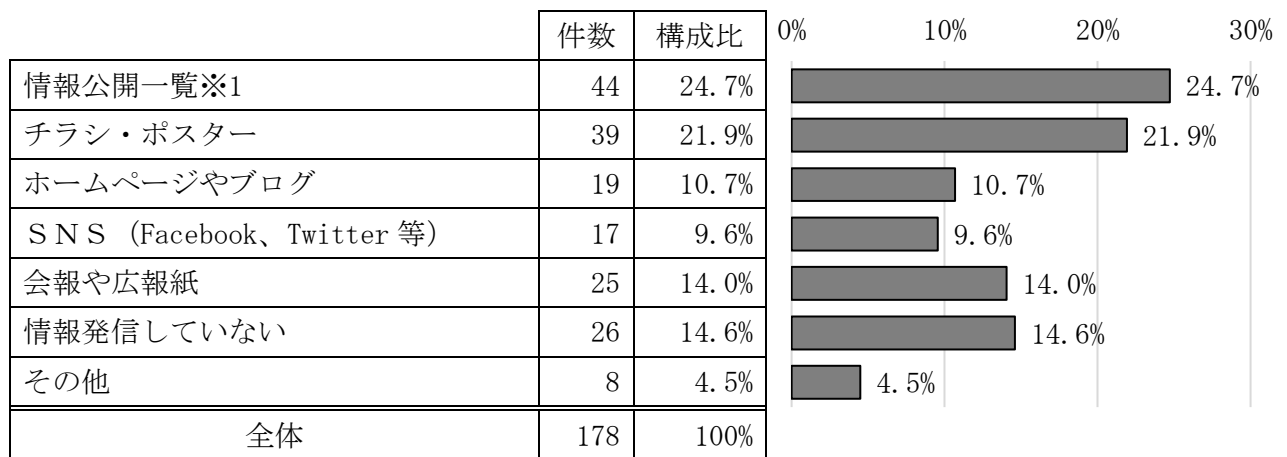
8. 令和3年度の予算の財源 と 1. 活動形態 (p. 2)

	定額・定期的な 会費収入	寄付金・ 協賛金	助成金・ 補助金	随時、 会員から 集金	個人負担	その他	総計
NPO法人	5	4	6			1	16
ボランティア団体・個人	18	9	18	7	8	4	64
当事者団体・個人	5	4	4	3		2	18
趣味のサークル団体・個人	25		3	13	3		44
その他	1	2	3	2	3		11
無回答	1			1	2		4
総計	55	19	34	26	16	7	157



- ☒ 定額・定期的な会費収入 ☒ 寄付金・協賛金 ☒ 助成金・補助金
☒ 随時、会員から集金 ☒ 個人負担 ☒ その他

9. 情報の発信手段（複数回答可）

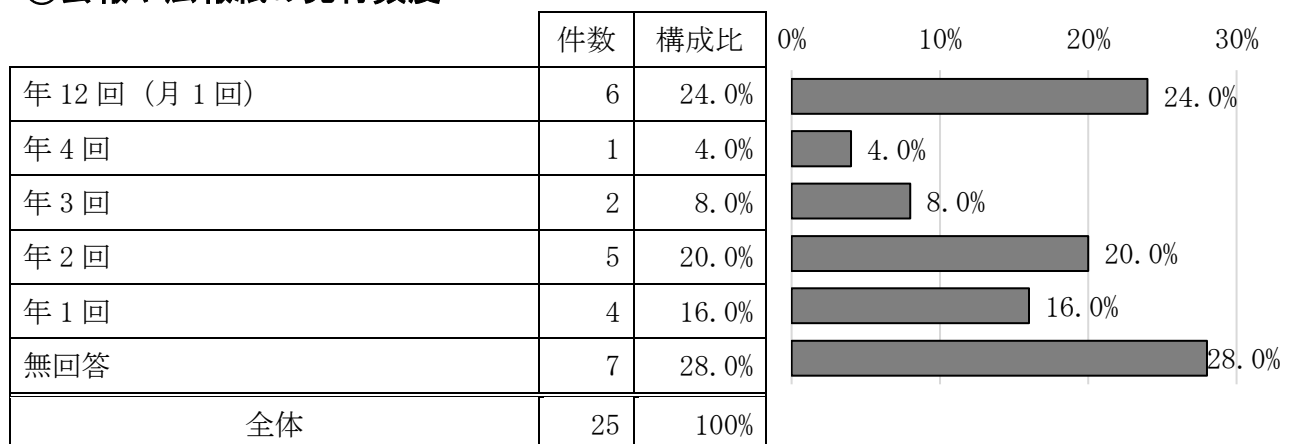


※1…八潮市及び八潮市社会福祉協議会が協働で作成

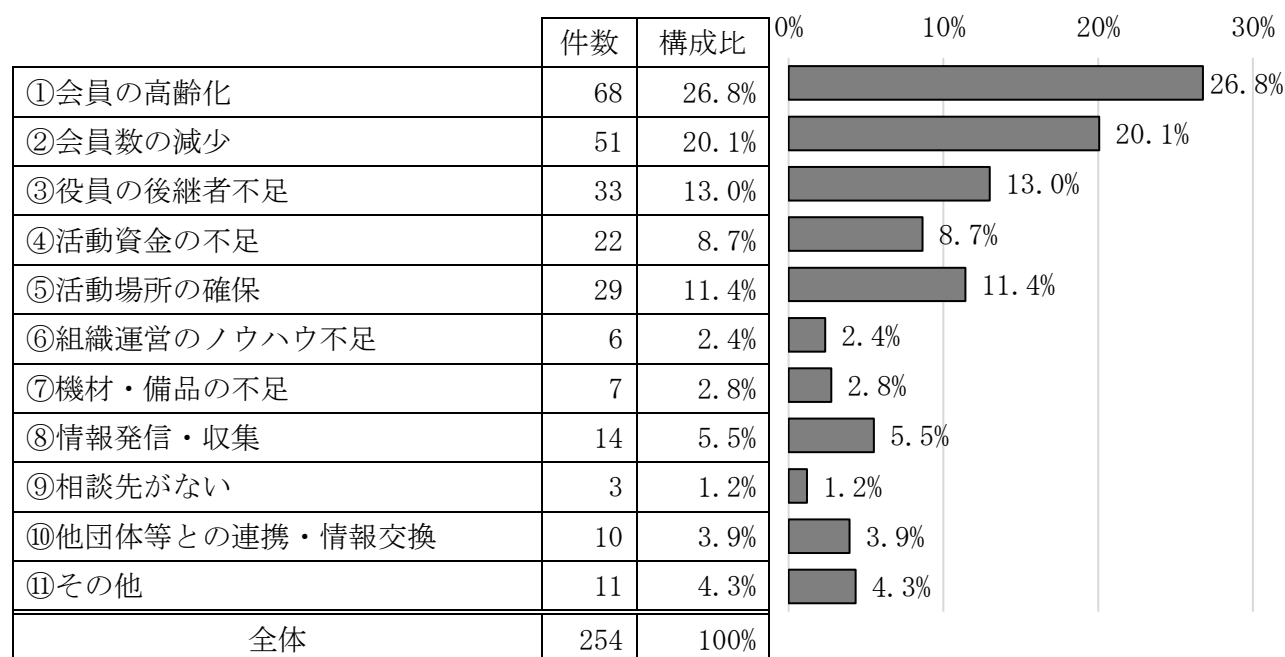
「その他」には、「広報やしお」、「ロコミ」、「リモート会議の場で発信」、「公開講座」等といった回答がありました。

また、「会報や広報紙」と回答した 25 件のうち、発行頻度は次のとおりでした。

9-①会報や広報紙の発行頻度



10. 活動の課題となっていること（複数回答可）

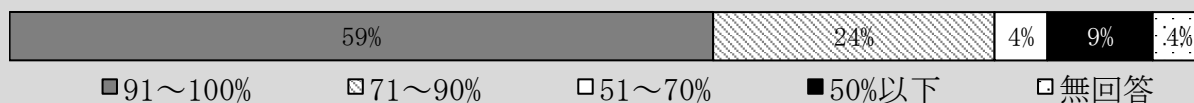


「その他」には、「コロナ禍における活動制限または自粛」、「コロナによる利用者の減少」、「コロナの対応で会員数を増やせない」等といった新型コロナウイルス感染症の影響のほか、「学生ボランティアの確保」や「活動の思いの共有」等といった回答がありました。

10-①会員の高齢化(p. 12) と 3. 会員構成(p. 4)

課題として「会員の高齢化」と回答した 68 件について、各団体の会員構成のうち 60 歳以上が占める割合は、次のとおりでした。

	件数	構成比
91～100%	40	59%
71～90%	16	24%
51～70%	3	4%
50%以下	6	9%
無回答	3	4%
全体	68	100%



60 歳以上が過半数を占める団体が、回答者の 87%という結果でした。

10-②会員数の減少(p. 12) と 3. 会員構成(p. 4)

課題として「会員数の減少」と回答した 51 件について、会員構成は次のとおりでした。

	件数	構成比
1～5 人	10	19.6%
6～10 人	20	39.2%
11～20 人	10	19.6%
21～30 人	0	0.0%
31～50 人	2	3.9%
51～100 人	4	7.8%
101～200 人	1	2.0%
201 人以上	4	7.8%
無回答	0	0.0%
全体	51	100.0%



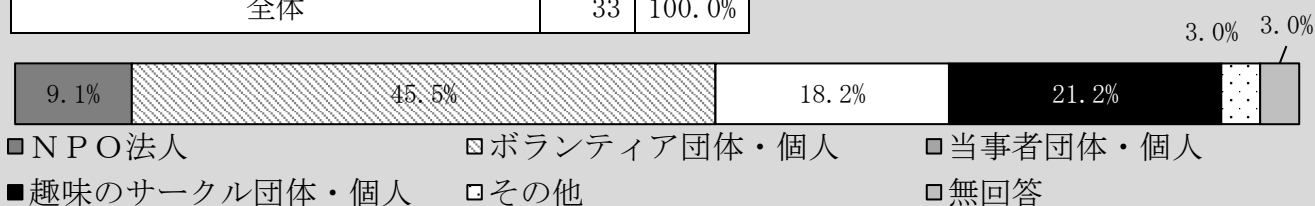
■1～5人 □6～10人 □11～20人 ■31～50人 □51～100人 □101～200人 ■201人以上

会員が 20 人以下の団体が回答者の 78.4%という結果でした。また、51 人以上の規模の大きな団体も、会員数の減少を課題としていることがわかりました。

10-③役員の後継者不足(p. 12) と 1. 活動形態(p. 2)

課題として「役員の後継者不足」と回答した33件について、活動形態は次のとおりでした。

	件数	構成比
NPO法人	3	9.1%
ボランティア団体・個人	15	45.5%
当事者団体・個人	6	18.2%
趣味のサークル団体・個人	7	21.2%
その他	1	3.0%
無回答	1	3.0%
全体	33	100.0%



ボランティア団体・個人が45.5%と最も高く、次いで趣味のサークル団体・個人が21.2%、当事者団体・個人が18.2%という結果でした。

10-④活動資金の不足(p. 12) と 7. 令和3年度の決算額(p. 9)

課題として「活動資金の不足」と回答した22件について、令和3年度の決算額は次のとおりでした。

	件数	構成比
5万円未満	8	36.4%
5～10万円未満	1	4.5%
10～50万円未満	6	27.3%
50～100万円未満	1	4.5%
100～200万円未満	1	4.5%
200万円以上	3	13.6%
無回答	2	9.1%
全体	22	100.0%



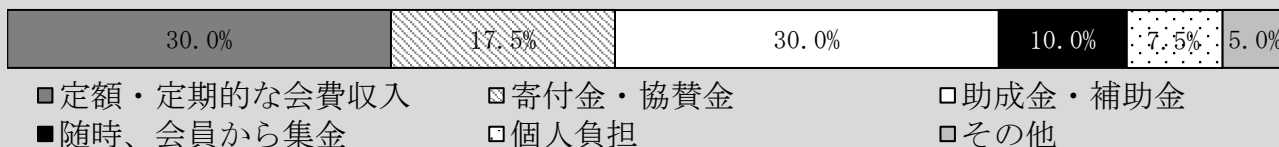
5万円未満が36.4%と最も高く、次いで10～50万円未満が27.3%、200万円以上が13.6%という結果でした。

10-④活動資金の不足(p. 12) と 8. 令和3年度の予算の財源(p. 10)

また、課題として「活動資金の不足」と回答した22件について、令和3年度の予算の財源は次のとおりでした。

	件数	構成比
定額・定期的な会費収入	12	30.0%
寄付金・協賛金	7	17.5%
助成金・補助金	12	30.0%
随時、会員から集金	4	10.0%
個人負担	3	7.5%
その他	2	5.0%
全体	40	100.0%

※「8. 令和3年度の予算の財源」は複数回答可



定額・定期的な会費収入と助成金・補助金が同じく30%という結果でした。

10-⑤活動場所の確保(p. 12) と 1. 活動形態(p. 2)

課題として「活動場所の確保」と回答した29件について、活動形態は次のとおりでした。

	件数	構成比
NPO法人	4	13.8%
ボランティア団体・個人	6	20.7%
当事者団体・個人	4	13.8%
趣味のサークル団体・個人	10	34.5%
その他	2	6.9%
無回答	3	10.3%
全体	29	100.0%



□NPO法人 □ボランティア団体・個人 □当事者団体・個人 ■その他 □無回答

趣味のサークル団体・個人が34.5%と最も高く、次いでボランティア団体・個人が20.7%という結果でした。

1 1. 課題解消のために行った取り組み

調査票では自由記述としていましたが、集計にあたって「10. 活動の課題となっていること」の選択肢に合わせて分類し、主な回答を記載しています。

1 0-①会員の高齢化

- ◆若年層の養成
- ◆人材に関しては、人づてにより紹介をもらうようにしている
- ◆ボランティア募集チラシ(若い方向け)
- ◆ポスター掲示し会員募集
- ◆高齢者が多いので展示の時のお手伝いを募集
- ◆役員会、活動委員会での話し合い

1 0-②会員数の減少

- ◆勧誘（声掛けなど）
- ◆チラシを作成して、やしお苑玄関前に貼った
- ◆活動で市内学校に行ったときに、団体の周知をしている
- ◆広報やしおで会員募集
- ◆展覧会実施、市の行事での実演開催、体験コーナー実施
- ◆民生委員の方々にも声をかけている

1 0-③役員の後継者不足

- ◆役員を（団体内の）各チームから選出し、補充をする
- ◆若い人の登用

1 0-④活動資金の不足

- ◆行政機関への援助依頼
- ◆助成金申請
- ◆参加費の値上げ
- ◆活動資金が不足するごとに、不足額に応じて会費を徴収した
- ◆募金箱の設置・フリーマーケット出店
- ◆事業活動の活性化

10-⑤活動場所の確保

- ◆（確保ができなかったため）活動回数減
- ◆新規の活動場所の使用申請
- ◆訪問する施設を増やすため、施設に説明に伺った
- ◆他団体と協力して確保に努めている

10-⑥組織運営のノウハウ不足 該当する回答なし

10-⑦機材・備品の不足 該当する回答なし

10-⑧情報発信・収集

- ◆積極的な活動内容の発信
- ◆チラシ作成、配布
- ◆SNS、イベントでのチラシ、パンフ配布、店頭チラシ、パンフ設置等
- ◆情報発信の勉強会を実施
- ◆840 伝言板を利用

10-⑨相談先がない 該当する回答なし

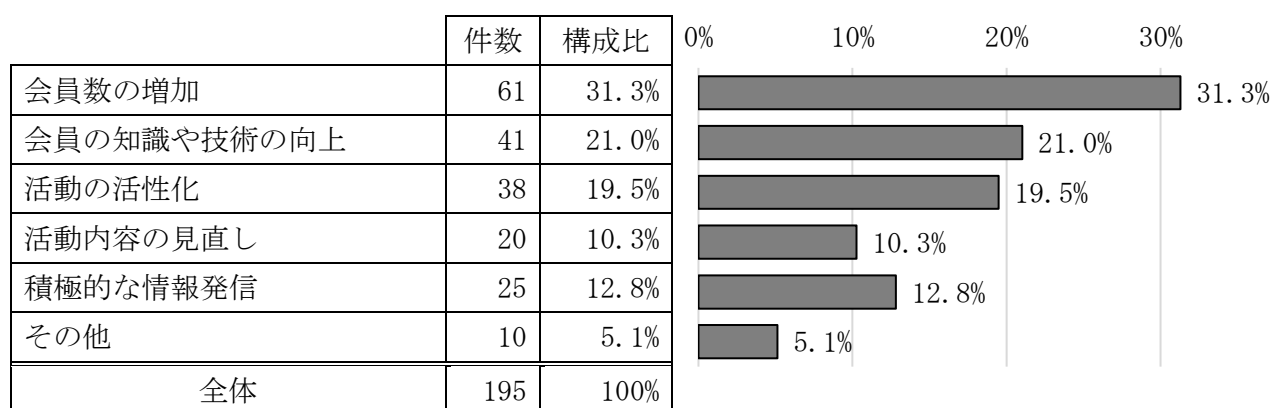
10-⑩他団体等との連携・情報交換

- ◆他団体などとの連携、情報交換が必要なので会で何かイベントをするときはチラシを配布して一緒に参加してもらったり積極的に連絡を取ったりしている
- ◆地域と繋がる例会作り

10-⑪その他

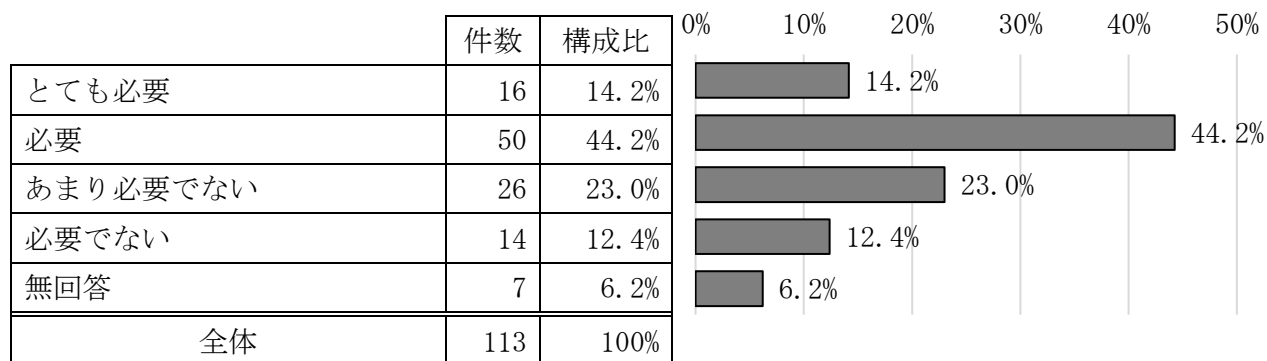
- ◆活動の思いの共有を共有するため、グループラインで発信し続けている

12. 今後、力を入れていきたいこと（複数回答可）



「その他」には、「行政との連携」、「他機関との連携」、「助成金制度の活用」、「働き盛り世代の人材確保」、「ボランティアの確保」等といった回答がありました。

13. 他団体等との連携・ネットワークは必要だと思いますか



13. 他団体等との連携・ネットワークは必要だと思いますか と 1. 活動形態 (p.2)

	(件数)					
	とても必要	必要	あまり必要でない	必要でない	無回答	総計
NPO法人	1	5	1		1	8
ボランティア団体・個人	12	23	7	2		44
当事者団体・個人	1	6		1	2	10
趣味のサークル団体・個人		12	13	11	4	40
その他	2	3	2			7
無回答		1	3			4
総計	16	50	26	14	7	113

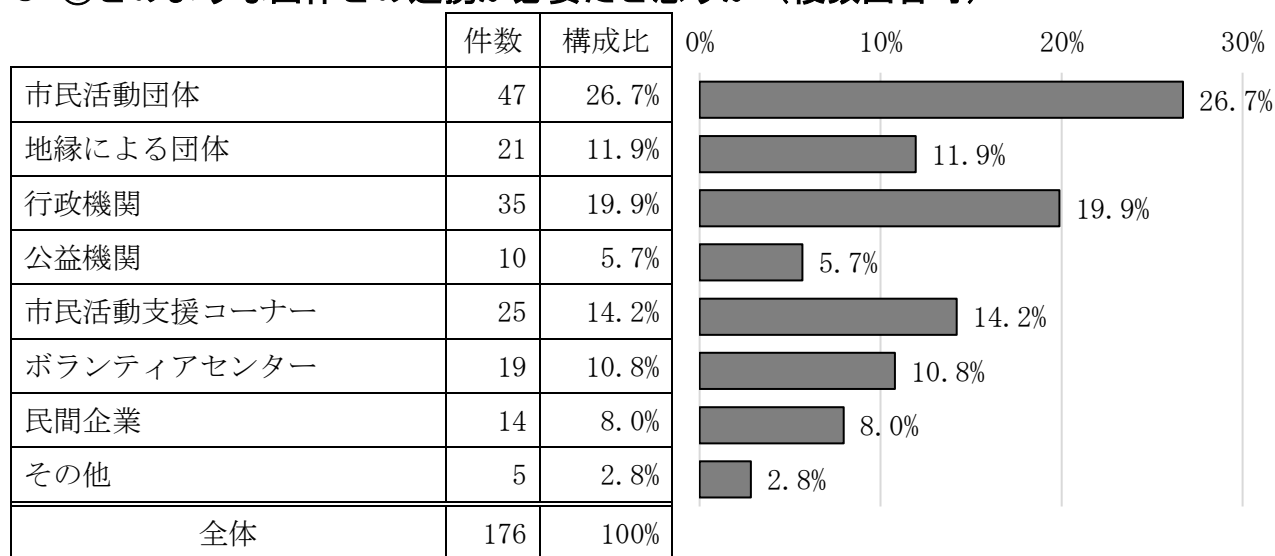


☐ とても必要
 ☐ 必要
 ☐ あまり必要でない
 ☐ 必要でない
 ☐ 無回答

総計では、「とても必要」「必要」が58%と過半数を超える結果となりましたが、「趣味のサークル団体・個人」については、「あまり必要でない」「必要でない」が61%と高い結果となりました。

また、「とても必要」「必要」と回答した 66 件のうち、どのような団体との連携が必要だと思うか質問したところ、結果は次のとおりでした。

13-①どのような団体との連携が必要だと思うか（複数回答可）

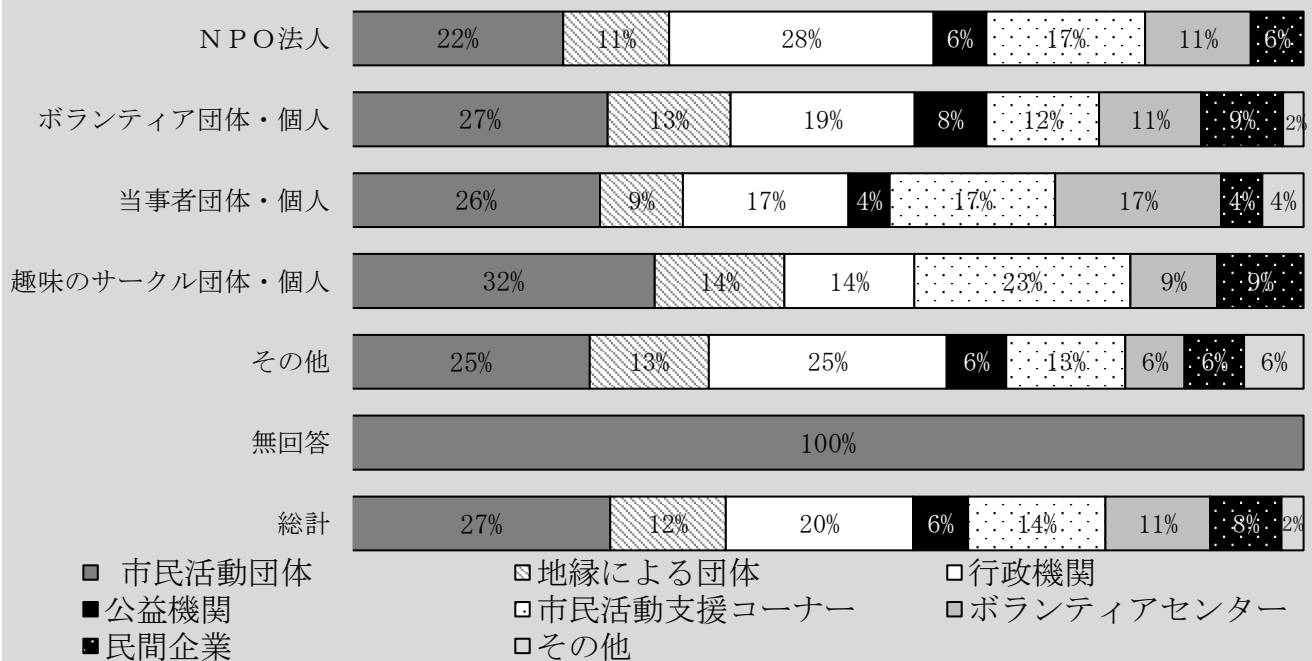


「その他」には、「病院、地域包括支援センター」、「金融機関」、「学校」、「聴覚障がい者団体」、「保護猫団体」といった回答がありました。

13-①どのような団体との連携が必要だと思うか (p. 20) と 1. 活動形態 (p. 2)

(件数)

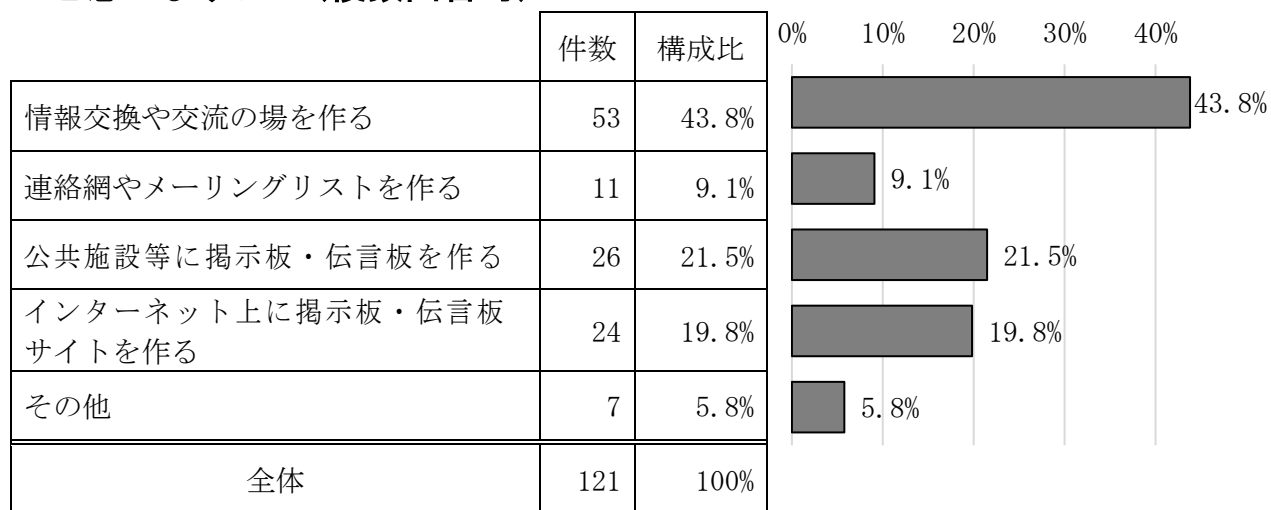
	市民活動 団体	地縁に よる団体	行政機関	公益機関	市民活動 支援 コーナー	ボラン ティア センター	民間企業	その他	総計
NPO法人	4	2	5	1	3	2	1		18
ボランティア団体・個人	25	12	18	7	11	10	8	2	93
当事者団体・個人	6	2	4	1	4	4	1	1	23
趣味のサークル団体・個人	7	3	3		5	2	2		22
その他	4	2	4	1	2	1	1	1	16
無回答	1								1
総計	47	21	34	10	25	19	13	4	173



総計では、「市民活動団体との連携」を必要とする回答が27%と最も高く、次いで「行政機関との連携」が20%となりました。

また活動形態別では、NPO法人については「行政機関との連携」を必要とする回答が28%と最も高く、次いで「市民活動団体との連携」が22%となりました。

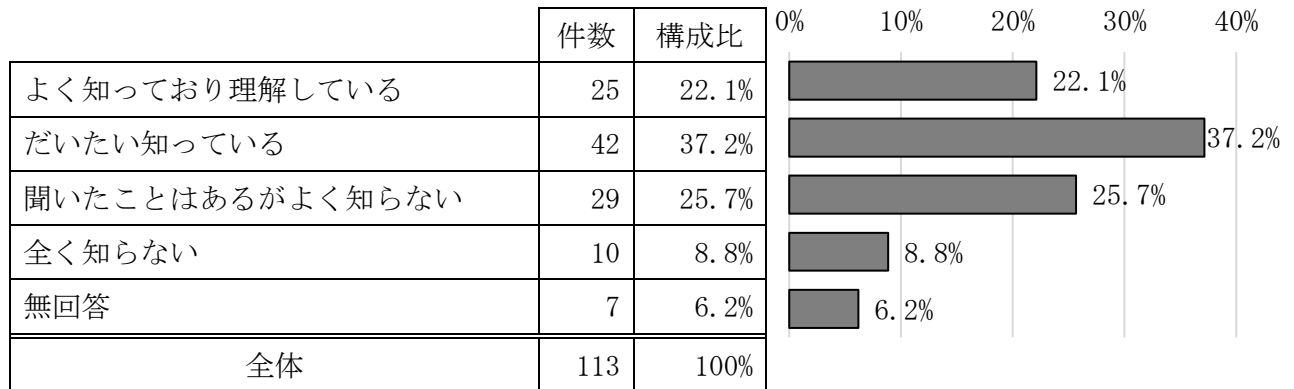
14. 他団体等との連携・ネットワークを構築する場合、どのような手段がよいと思いますか（複数回答可）



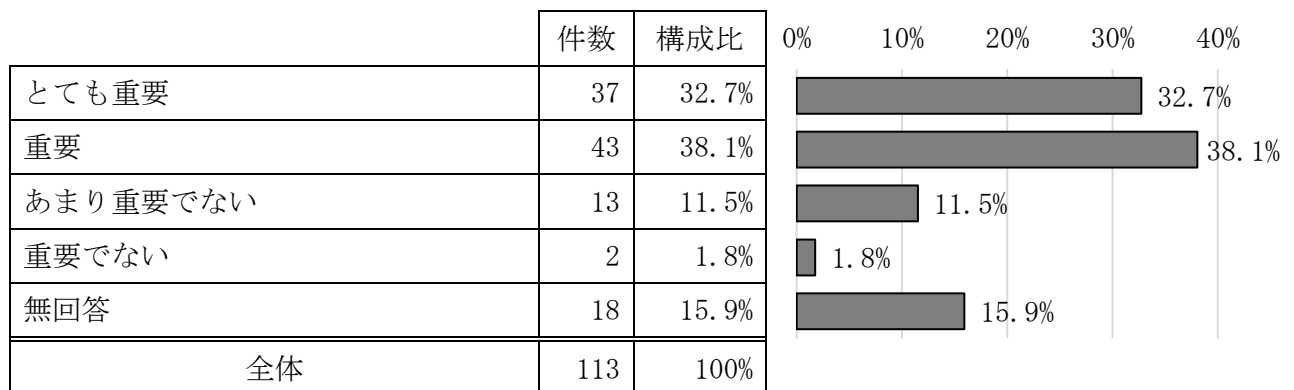
「その他」には、「同じグループ(活動)の交流会」、「行政の呼びかけ」、「イベント活動協力」、「ポスター」、「委託講座などを開催する」、「知人などへの声掛け」といった回答がありました。

【３】八潮市の施策などについて

１５．「協働」という言葉を知っていますか



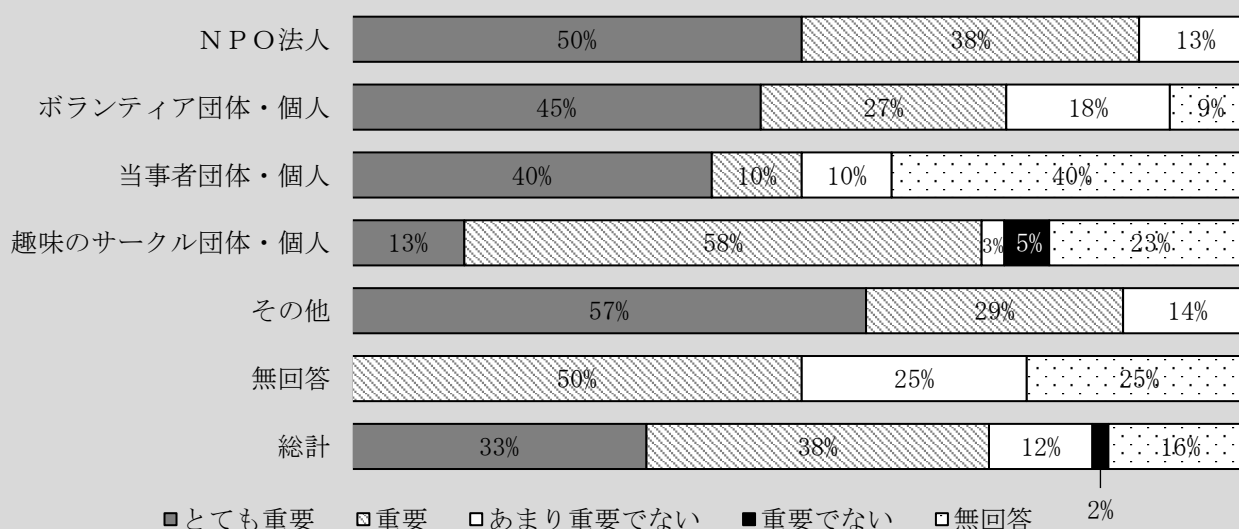
１６．協働はどの程度重要だと思いますか



16. 協働はどの程度重要だと思いますか (p. 23) と 1. 活動形態 (p. 2)

(件数)

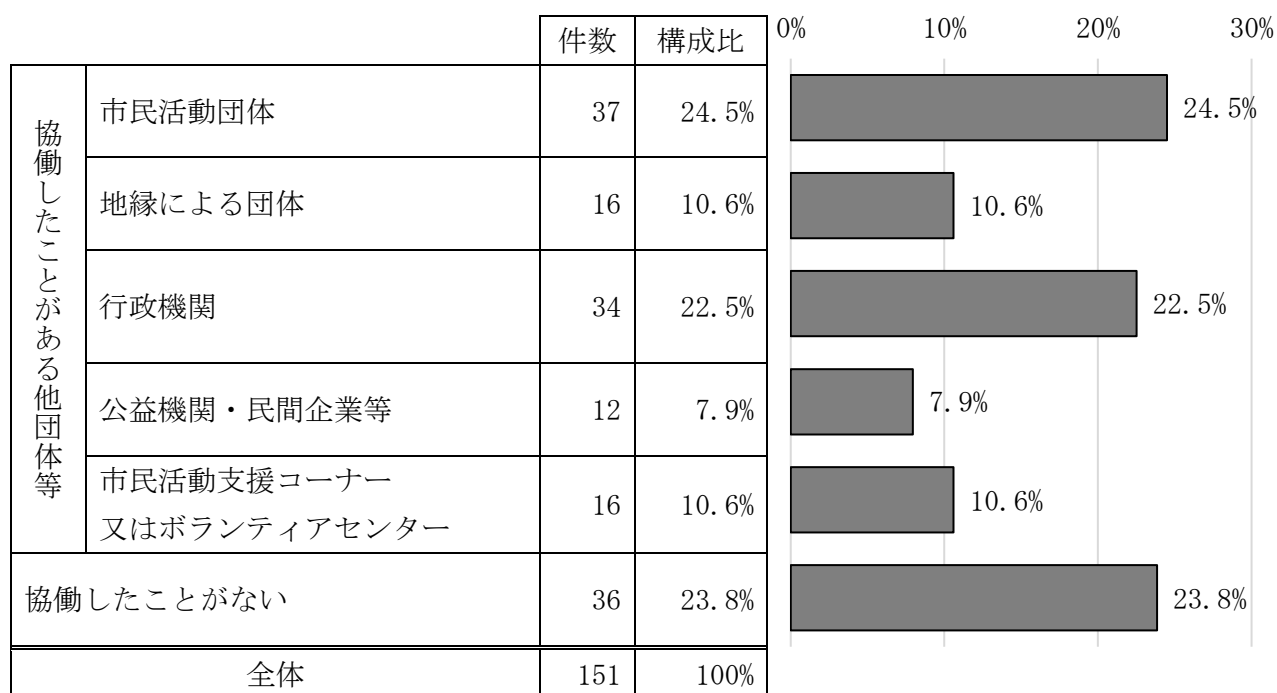
	とても重要	重要	あまり重要でない	重要でない	無回答	総計
NPO法人	4	3	1			8
ボランティア団体・個人	20	12	8		4	44
当事者団体・個人	4	1	1		4	10
趣味のサークル団体・個人	5	23	1	2	9	40
その他	4	2	1			7
無回答		2	1		1	4
総計	37	43	13	2	18	113



総計では、「とても重要」「重要」が71%と過半数を超える結果でした。

また、“13. 他団体との連携・ネットワークは必要だと思いますか”では「とても必要」「必要」の割合が他の活動形態より低かった、「趣味のサークル団体・個人」も、この設問では「とても重要」「重要」が71%と高く、協働については全ての活動形態で重要と考えていることがわかりました。

17. 他団体等と協働したことはありますか（複数回答可）



「協働したことがある」と回答した115件のうち、協働によってどのような効果を得られたか質問したところ、主な回答は次のとおりでした。

17-①協働によってどのような効果を得られたか（肯定的な意見）

《活動の効率化》

- ◆マンパワーが得られスムーズにイベントが進められた
- ◆1+1=2でなく、3とか4の力が出る
- ◆広報活動が有意義に進められた
- ◆市内の活動の情報が得られる（コロナ流行により市内の活動がほとんどないのが現況）
- ◆お互いの良いところなどを活動にも取り入れ、前向きに関われたこと
- ◆媒体制作を有意義に進められた
- ◆催しの周知や財源確保を円滑に行うことができた
- ◆活動者、資金、情報発信力などの確保ができた
- ◆大きなイベントができる
- ◆会場の確保

《認知度・信用度が上がった》

- ◆「知ってもらふ」ことができた
- ◆お互いの存在を知ることができ、違う性格の単体が協力し合うことの大切さがわかった
- ◆行政機関からの信用度、認知度が増したように思える

- ◆周知が広がる
- ◆知名度が上がった
- ◆私たちの会を知ってもらえた
- ◆活動の理解をしてもらい、宣伝になる
- ◆団体の活動内容や知名度がアップし、出前講座の依頼が増えた

《人の輪が広がった》

- ◆こどもたちは、親だけでなく成長を見守ってくれる人が増えた
- ◆参加者同士で理解を深め合うことができ、楽しい時間を過ごすことができたと思う
- ◆地域の方々とコミュニケーションがとれた
- ◆他の団体と顔見知りになり、情報を得られた
- ◆良いつながり交流ができている
- ◆産官学 三方よし 地域のコミュニティ創出
- ◆様々な職種の方と交流を深めることができ繋がりが生まれた

《その他》

- ◆活動の場が広がった、増加した
- ◆活動の趣旨が浸透した
- ◆協働の継続が大切
- ◆市民活動の活性化が図れた
- ◆ふれあいサロン等で出演した
- ◆ボランティア活動に参加してもらったり、寄付をしてもらった
- ◆より楽しく充実したものとなった
- ◆情報が届くようになった
- ◆新たな情報、知識が得られた
- ◆外国人との交流で日本文化・茶道を知ってもらえた
- ◆魚拓作りを体験してもらい理解を深めた
- ◆朗読会で増員ができた
- ◆障がい児（者）のことを少しでも理解してもらえた。

17-②協働によってどのような効果が得られたか（否定的な意見）

- ◆高評価を受けているが、その後の参加がない
- ◆疲労のみ残った

17. 他団体等と協働したことがある (p. 25) と 1. 活動形態 (p. 2)

(件数)

	協働したことがある他団体等					総計
	市民活動団体	地縁による団体	行政機関	公益機関・民間企業等	市民活動支援コーナー 又は ボランティアセンター	
NPO法人	3	2	5	1	1	12
ボランティア団体・個人	20	6	18	9	6	59
当事者団体・個人	4	2	4	1	2	13
趣味のサークル団体・個人	5	5	4		6	20
その他	3	1	3	1	1	9
無回答	2					2
総計	37	16	34	12	16	115



■ 市民活動団体

▨ 地縁による団体

□ 行政機関

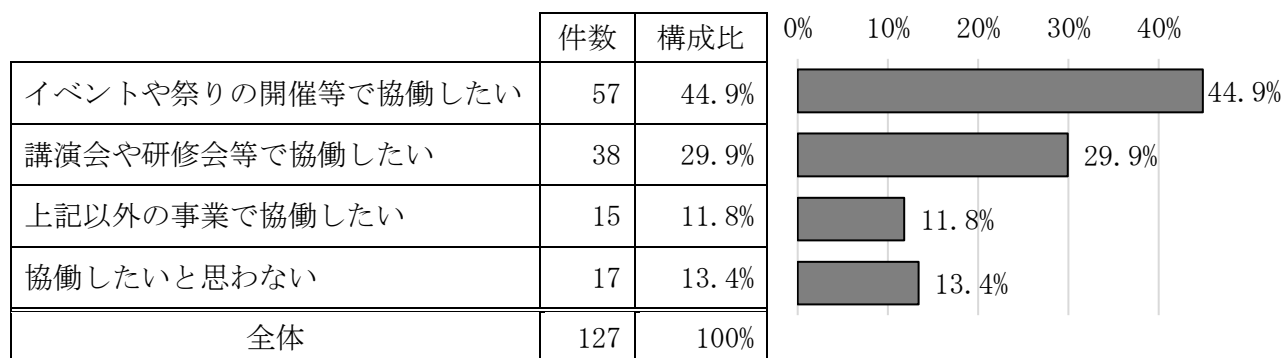
■ 公益機関・民間企業等

□ 市民活動支援コーナー又はボランティアセンター

総計では「市民活動団体」との協働が 32%と最も高く、次いで「行政機関」との協働が 30%となりました。

NPO法人及び当事者団体・個人は、比較的「行政機関」との協働の割合が高く、これは、各団体の活動分野と行政課題に共通する点が多いものと考えられます。

18. 今後、市と協働したいと思いますか（複数回答可）

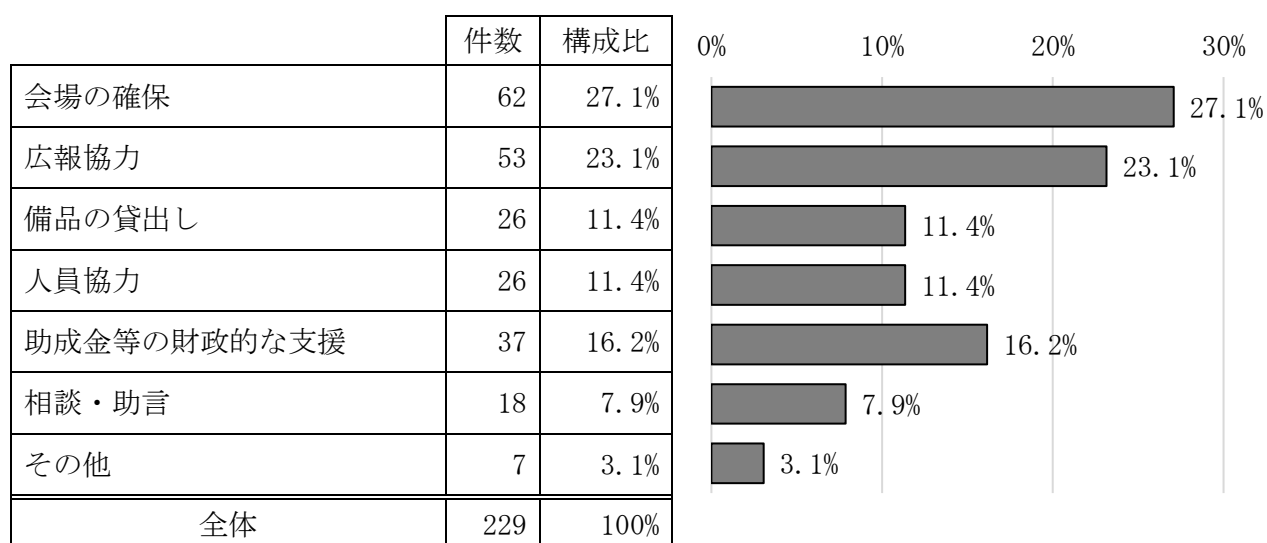


「上記以外の事業で協働したい」と回答した 15 件について、協働したい内容として主な回答は次のとおりでした。

18-①協働したい内容

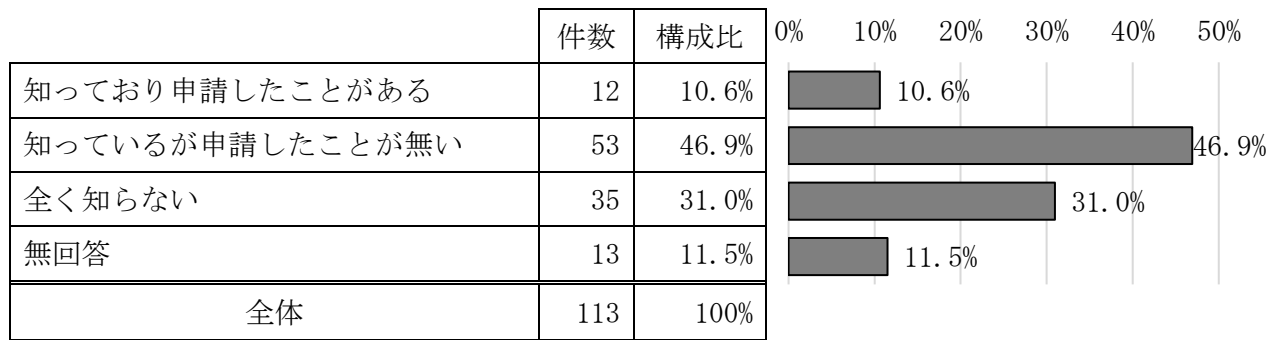
- ◆福祉関係
- ◆高齢者の猫飼育について
- ◆妊娠中のママに向けた講座・こどものやる気と自信を育む講座
- ◆避難所運営ゲームや福祉 SOS ゲームの講座開催
- ◆保護猫に関すること
- ◆相談
- ◆商工会でも市民大学でも
- ◆学校など
- ◆達成感味わえることが必要
- ◆高校生事業で協働したい
- ◆まちづくり施策
- ◆多年齢（特に高齢者と子育て世代）の交流を図りたい

19. 今後、市と協働する場合、市にどのような協力を希望しますか（複数回答可）



「その他」には、「メセナ・楽習館ホールの吊り下げ看板印刷」、「建屋の復元」、「謝金・交通費の支給」等といった回答がありました。

20. 「協働のまちづくり推進事業助成金」を知っていますか



「協働のまちづくり推進事業助成金」は、平成26年度より毎年度実施しているところですが、認知度は57.5%に留まりました。

20. 「協働のまちづくり推進事業助成金」を知っていますか と 1. 活動形態 (p.2)

	(件数)			
	知っており 申請した ことがある	知っているが 申請した ことが無い	全く知らない	無回答
NPO法人	2	3	1	2
ボランティア団体・個人	6	25	10	3
当事者団体・個人	1	6	1	2
趣味のサークル団体・個人	1	14	19	6
その他	1	3	3	
無回答	1	2	1	
総計	12	53	35	13



■ 知っており申請したことがある
□ 全く知らない

▨ 知っているが申請したことが無い
■ 無回答

また、「知っているが申請したことが無い」と回答した 53 件について、申請しなかった理由は次のとおりでした。

20-①申請しなかった理由（複数回答可）

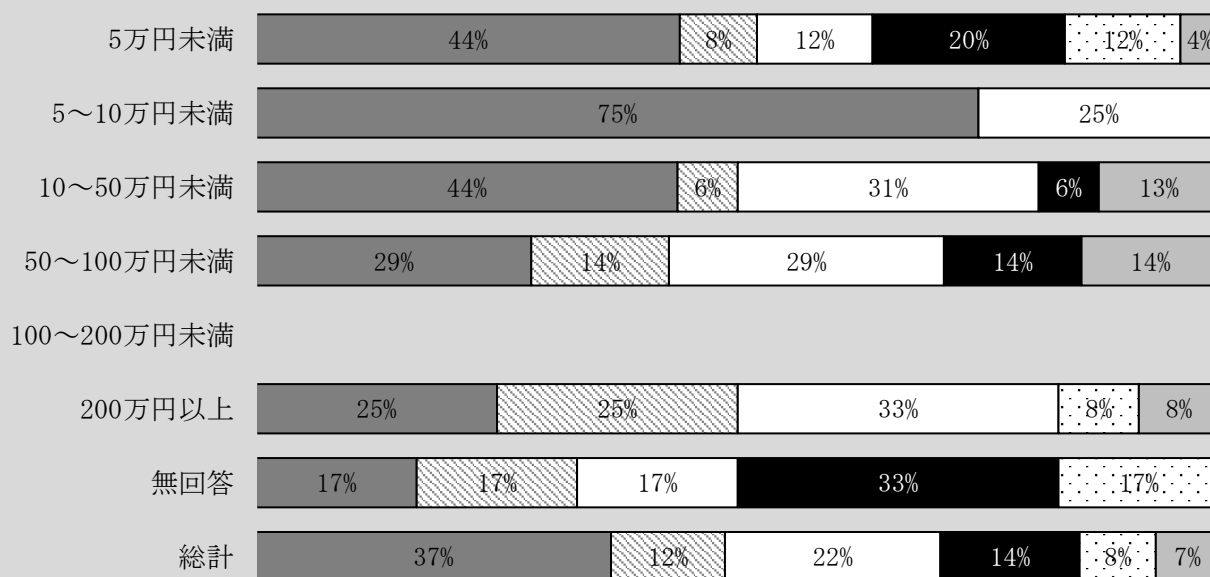


「その他」には、「会費を集めているのでその範囲内での支出で活動できる」、「現時点では必要性を感じていない」、「最近知ったから」、「申請時期を逃してしまったため」等といった回答がありました。

**20. 「協働のまちづくり推進事業助成金」を知っていますか (p. 30) と
7. 令和3年度の決算額 (p. 9) と 8. 令和3年度の予算の財源 (p. 10)**

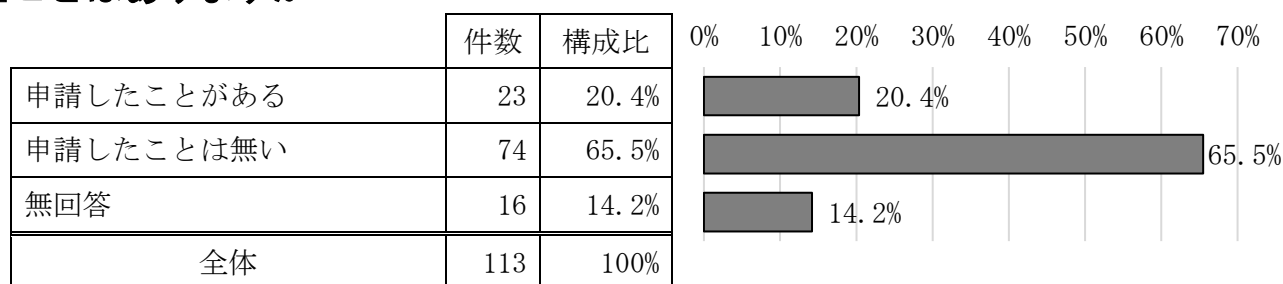
「知っているが申請したことが無い」と回答した53件について、決算額及び予算の財源については次のとおりでした。(件数)

	定額・定期的な 会費収入	寄付金・ 協賛金	助成金・ 補助金	随時、 会員から 集金	個人負担	その他	総計
5万円未満	11	2	3	5	3	1	25
5～10万円未満	3		1				4
10～50万円未満	7	1	5	1		2	16
50～100万円未満	2	1	2	1		1	7
100～200万円未満							0
200万円以上	3	3	4		1	1	12
無回答	2	2	2	4	2		12
総計	28	9	17	11	6	5	76



- ☐ 定額・定期的な会費収入 ☐ 寄付金・協賛金 ☐ 助成金・補助金
☒ 随時、会員から集金 ☐ 個人負担 ☐ その他

2 1. 「協働のまちづくり推進事業助成金」以外の補助金・助成金等を申請したことはありますか



「申請したことがある」と回答した 23 件について、申請したことがある主な補助金・助成金等は次のとおりでした。

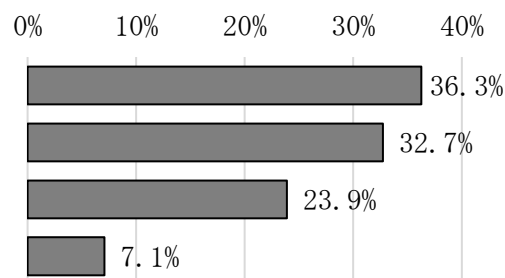
2 1-①申請したことがある補助金・助成金等

- ◆コープみらい社会貢献活動助成金
- ◆さわやか福祉財団地域助け合い基金
- ◆大和証券福祉財団ボランティア活動助成金
- ◆キリン福祉財団地域のちから応援事業公募助成金
- ◆ふれあいの詩基金助成金
- ◆事業復活支援金
- ◆家族による家族学習会
- ◆浦和競馬こども基金助成金
- ◆ひまわり基金助成金
- ◆オリックス宮内財団子ども食堂応援プロジェクト助成金
- ◆埼玉県共同募金会
- ◆社会福祉法人八潮市社会福祉協議会市民ボランティア活動団体補助金
- ◆八潮市自主まちづくり活動等支援助成金（テーマ型まちづくり活動）
- ◆八潮市スポーツ協会加盟団体助成金助成金
- ◆八潮市スポーツ協会加盟団体大会委託金
- ◆八潮市文化協会事業委託金
- ◆八潮市福祉関係団体等補助金（八潮市社会福祉協議会）
- ◆八潮市男女共同参画推進活動事業委託金
- ◆八潮市高齢者ふれあいの家助成金
- ◆八潮市社会教育団体補助金

【４】市民活動支援コーナーについて

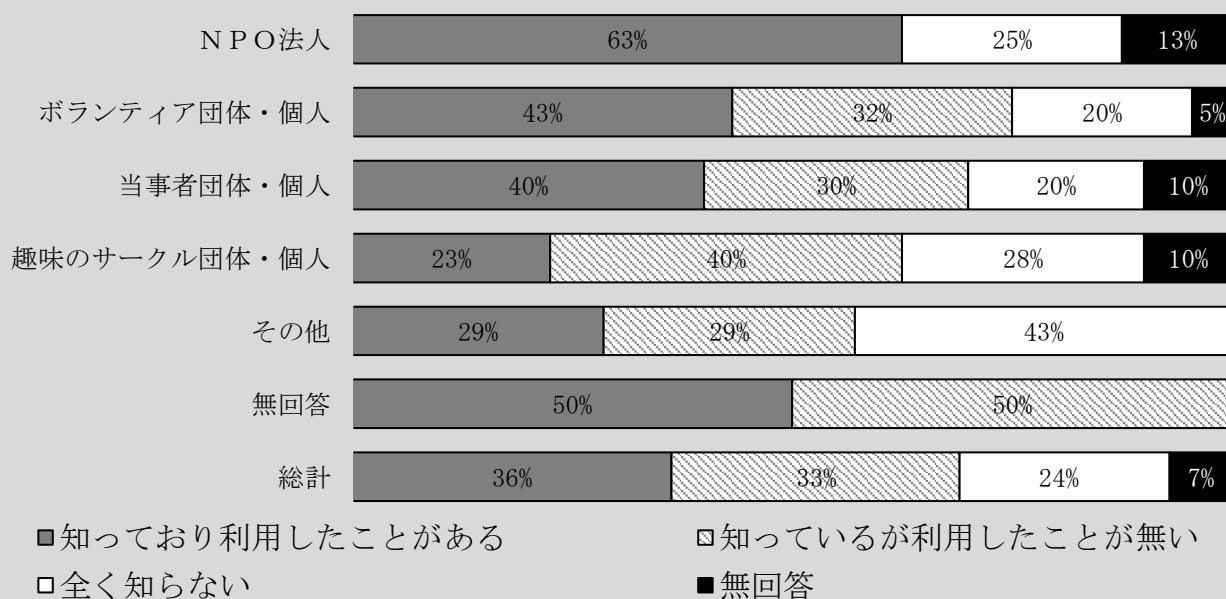
２２．市民活動支援コーナーを知っていますか

	件数	構成比
知っており利用したことがある	41	36.3%
知っているが利用したことが無い	37	32.7%
全く知らない	27	23.9%
無回答	8	7.1%
全体	113	100%



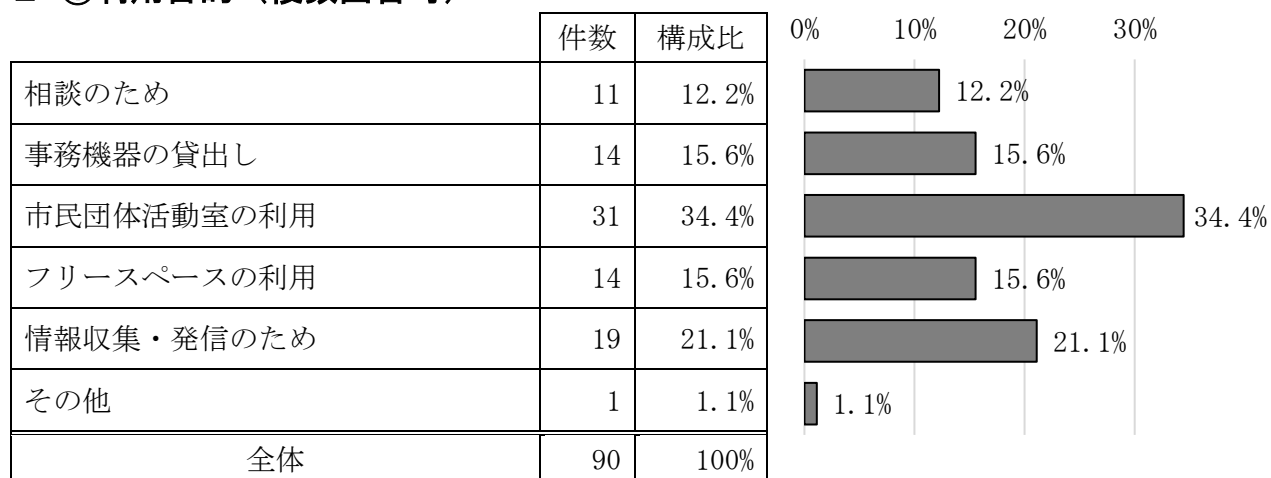
２２．市民活動支援コーナーを知っていますか と １．活動形態 (p. 2)

	知っており 利用したこ とがある	知っている が利用した ことが無い	全く知らない	無回答	総計
NPO法人	5		2	1	8
ボランティア団体・個人	19	14	9	2	44
当事者団体・個人	4	3	2	1	10
趣味のサークル団体・個人	9	16	11	4	40
その他	2	2	3		7
無回答	2	2			4
総計	41	37	27	8	113



「知っており利用したことがある」と回答した 41 件の利用目的は、次のとおりでした。

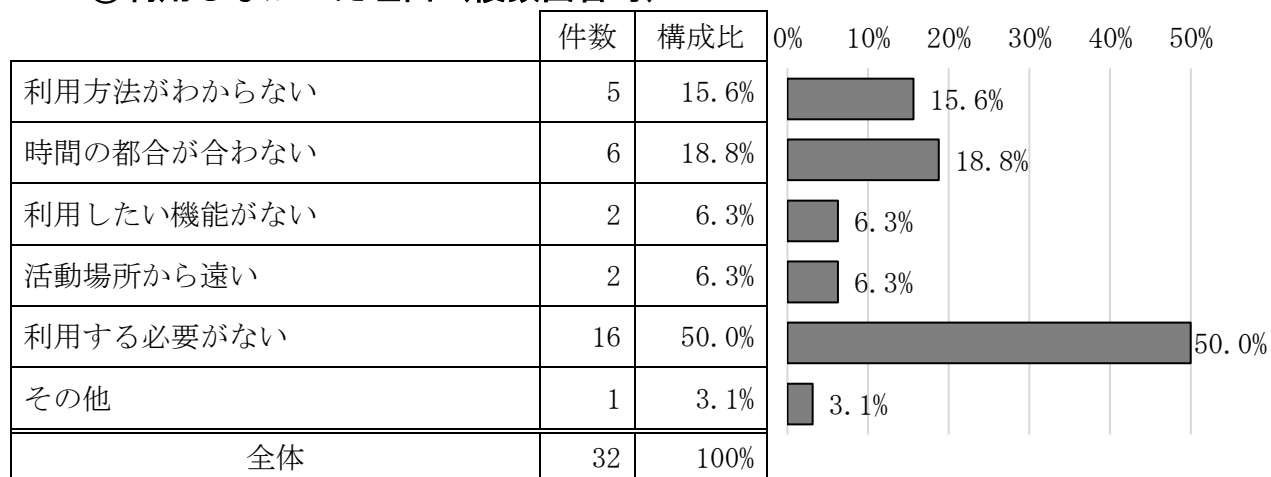
2 2-①利用目的（複数回答可）



「その他」では、「パソコンの扱い方を聞いた」といった回答がありました。

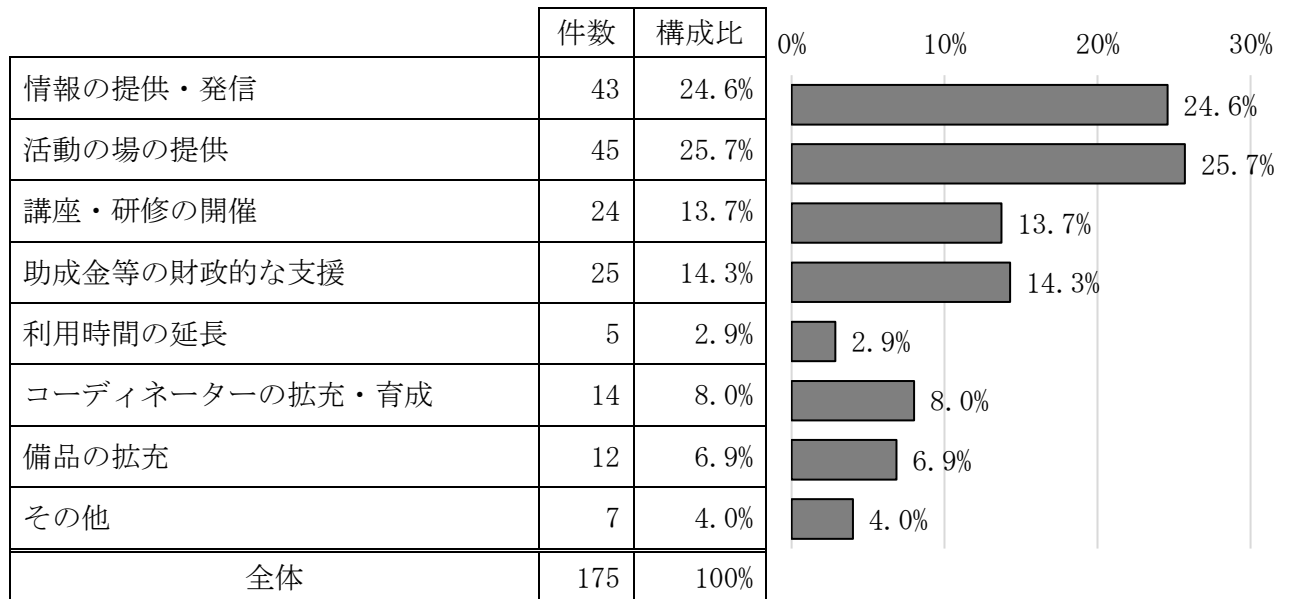
「知っているが利用したことが無い」と回答した 37 件の、利用しなかった理由は、次のとおりでした。

2 2-②利用しなかった理由（複数回答可）



「その他」では、「使いたかったときにコロナで使えなかった」といった回答がありました。

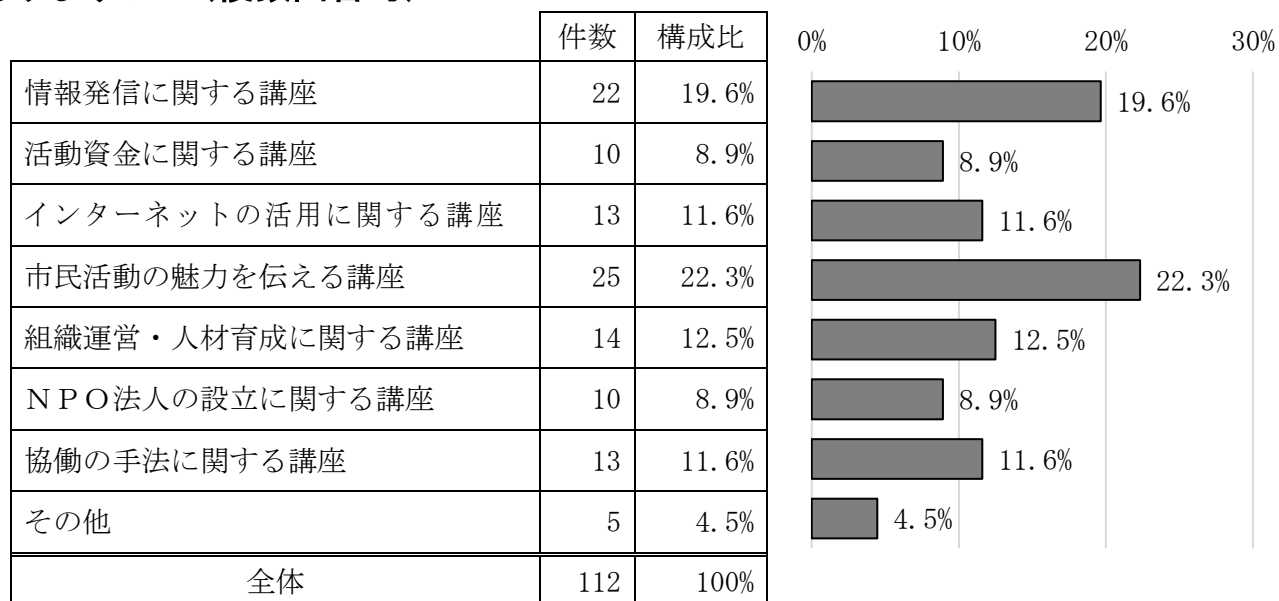
23. 今後、市民活動支援コーナーで力を入れてほしいことはありますか（複数回答可）



「備品の拡充」では、「Wi-Fi」、「パソコン」、「ラミネーター」等のほか、印刷機について「カラー印刷」、「ポスター印刷」、「大判印刷」等といった回答がありました。

また、「その他」では、「市民活動支援コーナーの民間委託」、「講座にとどまらず、活動を活性化するための支援」等といった回答がありました。

24. 活動を活性化するため、市民活動支援コーナーで開催してほしい講座はありますか（複数回答可）



「市民活動の魅力を伝える講座」が22.3%と最も高く、次いで「情報発信に関する講座」が19.6%となりました。

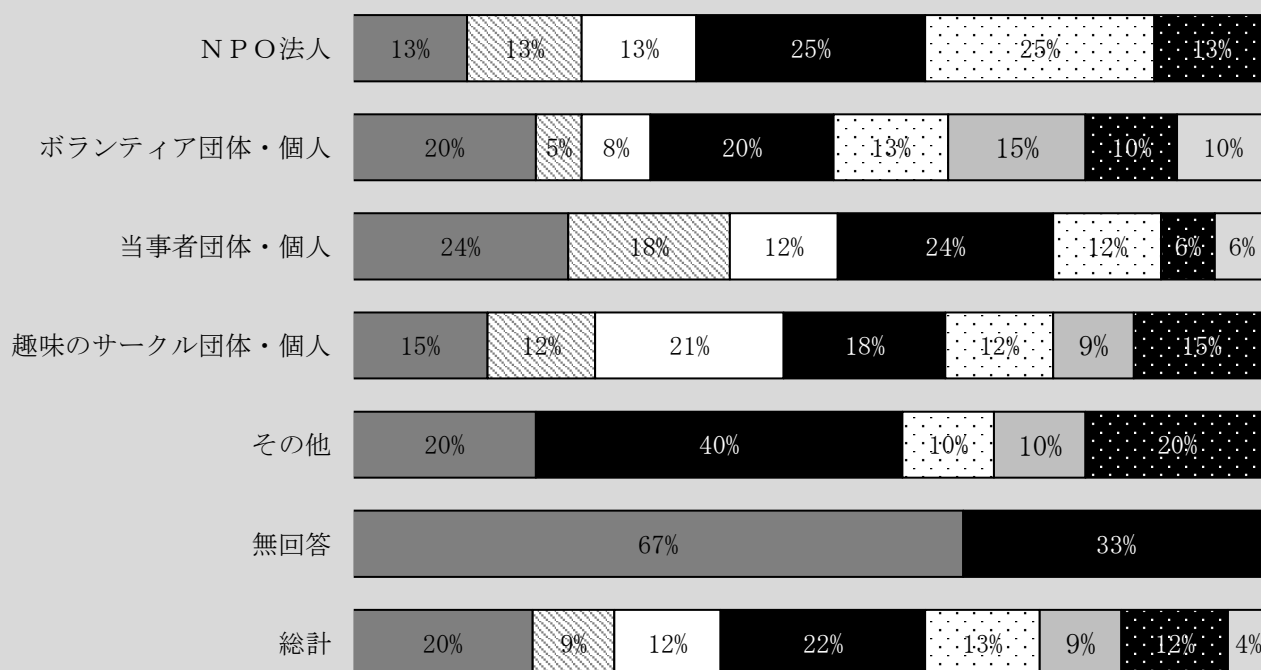
「その他」では、「働き盛り講座」、「LINEの使い方」、「クラウドファンディングの利用の仕方」等といった回答がありました。

24. 活動を活性化するため、市民活動支援コーナーで開催してほしい講座はありますか (p. 37)

と 1. 活動形態 (p. 2)

(件数)

	講座 情報発信に関する	講座 活動資金に関する	インターネットの 活用に関する講座	市民活動の魅力を 伝える講座	組織運営・人材育成に 関する講座	NPO法人の設立に 関する講座	講座 協働の手法に関する	その他	総計
NPO法人	1	1	1	2	2		1		8
ボランティア団体・個人	8	2	3	8	5	6	4	4	40
当事者団体・個人	4	3	2	4	2		1	1	17
趣味のサークル団体・個人	5	4	7	6	4	3	5		34
その他	2			4	1	1	2		10
無回答	2			1					3
総計	22	10	13	25	14	10	13	5	112



■ 情報発信に関する講座

□ インターネットの活用に関する講座

□ 組織運営・人材育成に関する講座

■ 協働の手法に関する講座

□ 活動資金に関する講座

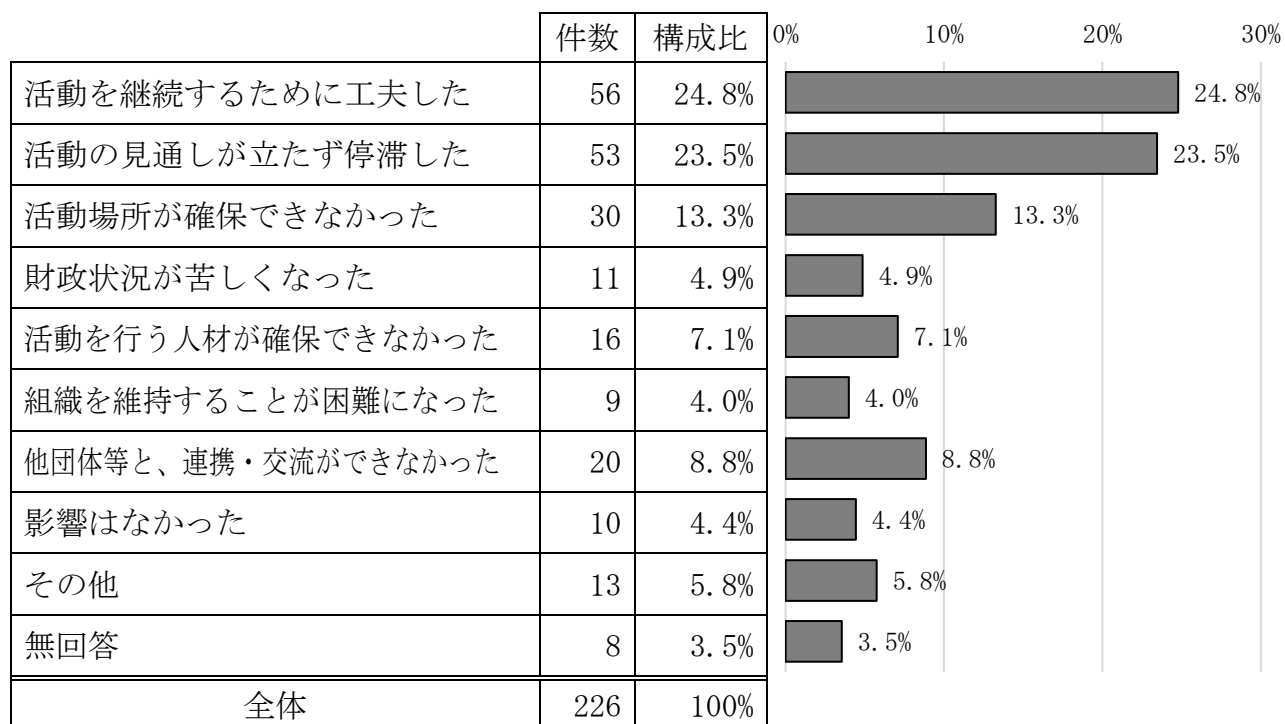
■ 市民活動の魅力を伝える講座

□ NPO法人の設立に関する講座

□ その他

【5】新型コロナウイルス感染症の流行による影響について

25. 活動にどのような影響がありましたか（複数回答可）



「その他」では、「行事・イベントなどが中止になった」、「市民音楽祭などの発表の場がなかった」、「対面での相談が少なくなった」、「会員数が減少した」等といった回答がありました。

また、「活動を継続するために工夫した」と回答した 56 件の具体的な工夫は次のとおりでした。

25-①具体的な工夫（複数回答可）



「その他」では、次のような回答がありました。

25-②その他

《3密の回避》

- ◆参加人数を少なくした
- ◆参加者と歓談する際は、間仕切り使用した
- ◆感染対策の徹底

《活動時間・活動場所の変更》

- ◆換気の良い部屋に変更した
- ◆町会の公民館を利用
- ◆活動時間の短縮と参加者の検温実施など

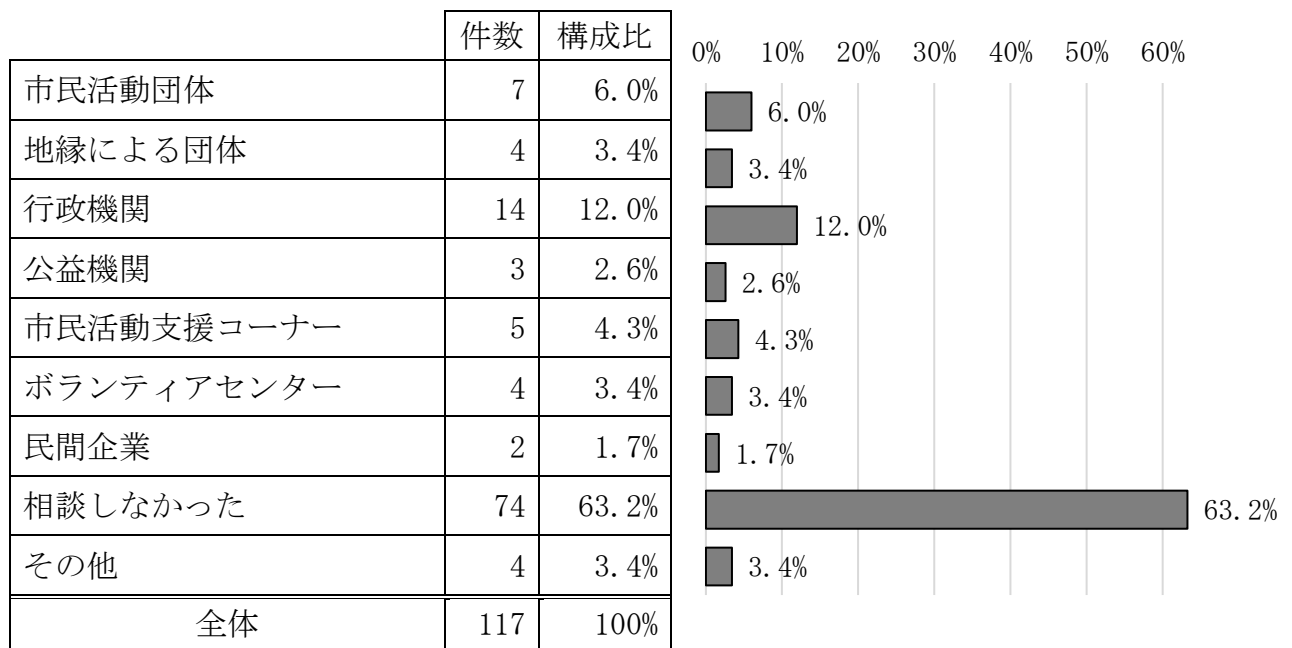
《消毒・清掃の実施》

- ◆屋外競技のため、噴霧器を購入し消毒をした
- ◆基本的な消毒、体温測定、換気

《活動の仕方を変更》

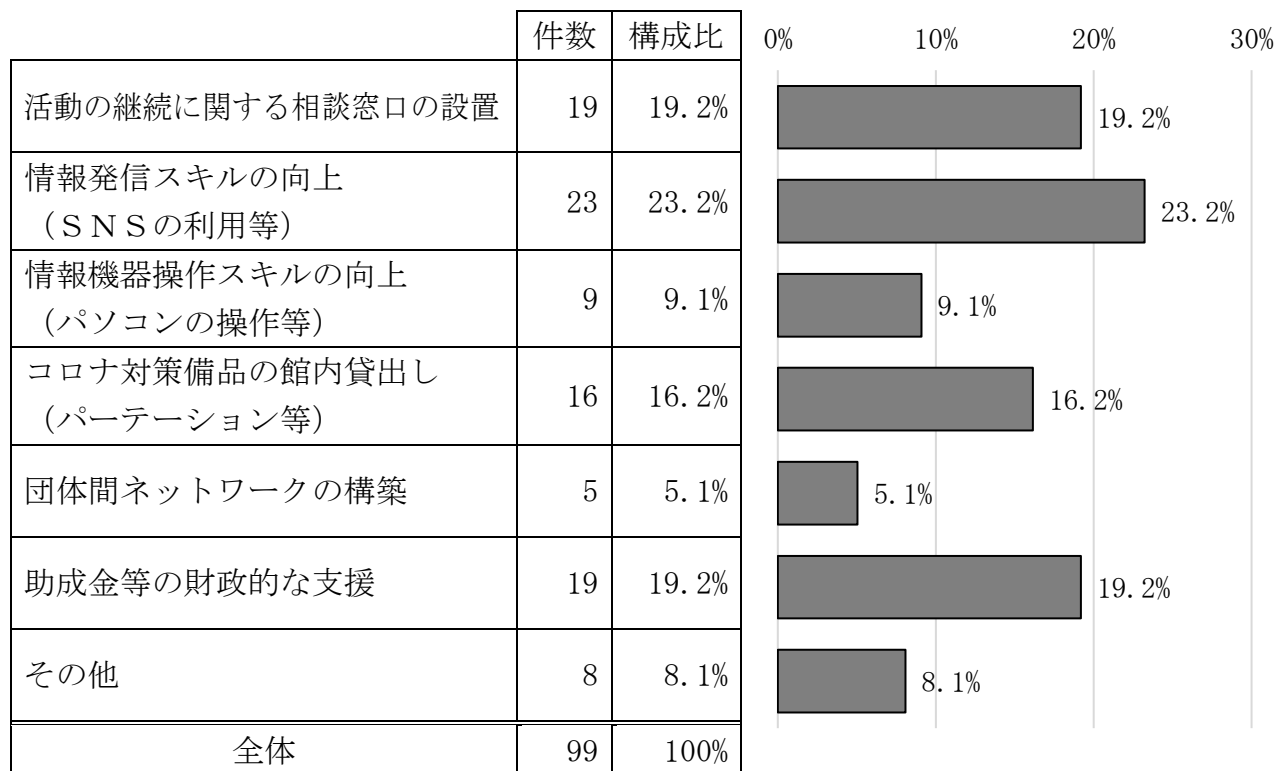
- ◆カップルの踊りをやめ、シングルのみにした

26. コロナ禍での活動について、どこかに相談しましたか（複数回答可）



「その他」では、「さいたまNPOセンター」、「団体（組織）の上部機関」等といった回答がありました。

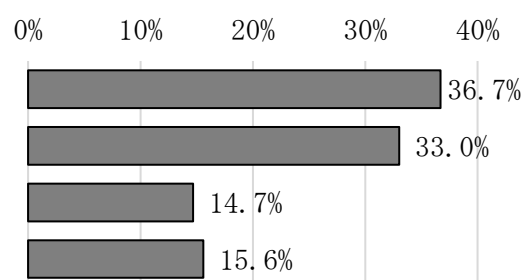
27. コロナ禍が続く中、どのような支援が必要ですか（複数回答可）



「その他」では、「コロナでも安心して使用できる場所」、「コロナ関係の正しい情報発信」、「コロナ禍でもボランティア活動中と広報などでPRしてほしい」、「オンラインの開設」といった回答のほか、「相手がコロナではすべて無理では?」、「集まれなくては活動が進まない」、「パーティションを取る、規制緩和」等といった回答がありました。

28. コロナ禍が続く中、貴団体は現在、どのような状況ですか（複数回答可）

	件数	構成比
困難な状況が継続している	40	36.7%
困難な状況が解消されつつある	36	33.0%
コロナ禍による影響はなかった	16	14.7%
その他	17	15.6%
全体	109	100%



「その他」では、「状況を見て再活動を始めた」、「感染者が多いときは中止していました」、「コロナ発症以来、まったく活動していないが、会として3ヶ月に一回話し合いの場を持っている」、「ボランティアを受け入れる団体がない」等といった回答がありました。

【6】自由記述（市民活動の支援などについて）

主な意見を記載しています。

- ◆社協と楽習館、資料館、公民館、コミュニティセンター、包括センターなど連携が必要と思っている
- ◆市民活動支援コーナーを①市民活動支援センターに拡充し、②窓口を民間に委託し、③市民活動の専門家を配置してもらいたい
- ◆民間による市民活動支援センターとセンターを運営する運営委員会の設置
- ◆市民活動支援センターは市民活動の活性化を図るという業務の性格上、市民団体に業務委託し、公設民営にしたほうが効率的な組織運営と効果が期待できると思う
- ◆市民活動支援コーナーから市民活動支援センターにし、一定の条件が整えば事務所を置く（活動団体）ことで、日常的に団体間のつながりを広げ強める。活動団体が取り組みたい企画の実現に向けた相談・コーディネートなど具体的に活動支援を進めてほしい
- ◆支援の遅れが深刻化しているので、県内ほとんどの都市で標準装備されている「NPO支援センター」の新設
- ◆市民の誇りや帰属意識を育む施策を念頭に置いて支援のあり方を考えてほしい
- ◆市民活動支援のバックボーンになる「手続条例」の早期条例化
- ◆制度も重要だが、担当する職員の姿勢に依るところも大きいと考える
- ◆支援という言葉が「きれい」すぎてわからない。個人情報に阻まれ、一步が前に出ない（進めない）
- ◆活動場所が資料館なので、「こまちゃん号」などの無料バスが利用できるコース取りをしてほしい。八潮駅～資料館（後谷方面）のバス路線を増やすことを希望
- ◆会員の高齢化で減少しているので、若いやる気のある人が加入してもらいたいので、支援をお願いしたい（楽習館SNSに取り上げてもらった）
- ◆コロナや市庁舎建設工事中ということもあると思うが、あまりにも市の動きが停滞しすぎるように感じる。行事により準備期間を要するものは早めに情報が欲しい。広報による情報提供も遅い
- ◆市民活動に、市はもっと参加して知ってほしいと思う
- ◆コロナの収束を待つのみ
- ◆八潮市の見解に沿ってNPO法人を設立したものの協力したり、力を尽くす場がなく、活動は停滞している。八潮市がNPO法人の活動領域を提案してくれても良いのではないか
- ◆講座や交流会などはまだまだ人が集まることに不安要素があるので、ウェブなどを活用してもらえると助かる
- ◆市民に活動を広告する際、そのメリットを伝えることで参加へのモチベーションアップにつながると思う

- ◆チラシやホームページや助成金申請の作成を代書して欲しい。難しくて講座を受けただけでは、作成出来ない
- ◆はなももカフェ等に地域の方を誘いひとりでも多くの方の参加が増えればいいと思うが、回覧板は町会加入者でなければ回らないので、回覧板にて知らせはどうでしょうか（100 円有料も記入して）
- ◆活動場所の確保が難しい状況。楽習館での予約が取れるようになると良い
- ◆活動場所の確保を行政に依頼しているが、セミナー室（楽習館）を希望。会員から次席で確保との声もある
- ◆カラーコピー・拡大印刷機・W i - F i を提供してほしい
- ◆イベントの際、ステージの吊るしカンバン、入口の立てカンバン作成に当たり、メセナ事務局の設備（印刷機）を使った印刷を楽習館利用者（団体）にも利用させる。又は作成して欲しい
- ◆楽習館の多目的室で自主映画を上映しようとしていたが、いざというときになって機械の故障で上映できないと言われた。チラシもチケットも作って、見に来てくれる人を集めている最中であり、ありえないことだ。いつでもちゃんと使えるように万全な状態にしておいてほしい
- ◆陶芸室のカーテンが壊れているので直してほしい
- ◆P C 教室（相談室）をもっと市として関心を持ってもらいたい。無関心に失望している
- ◆県主催の「川の再生交流会」が再開されるが、環境活動（市内）でも県からは参加されるが、当市からは無し。それなりの事情があるのだろうが、行政の協力（協働）が必要と痛感している
- ◆県内でも八潮市は平和活動に対する関心度が低い様に思われる
- ◆保護猫に対する助成金制度が知りたい。譲渡会場の提供をしてほしい
- ◆やしお苑にお花などを植え育て、入居者などの方々が大変喜んでいる。いつも楽しくボランティアをしている

参考 調査票

八潮市 市民活動状況調査 調査票

1. 調査の目的

この調査は、市民活動団体の活動状況や課題となっていることについて把握し、市民活動の推進に資するため実施するものです。

2. 調査の対象

令和4年度に、八潮市（市民活動支援コーナー）又は八潮市社会福祉協議会（八潮市ボランティアセンター）に市民活動又はボランティア活動の届け出をした団体及び個人の方

3. 調査・回答方法

次の①・②いずれかの方法により、ご回答ください。

①紙媒体の調査票

調査票にご記入のうえ、回収ボックスに投函又は郵送・FAXにてご回答ください。

回収ボックスは、市内公共施設（裏面をご参照ください）に設置しております。

郵送の場合は、誠に恐れ入りますが任意の封筒に入れ切手を貼って送ってください。

②Googleウェブ回答フォーム

U R L : <https://forms.gle/DeVf9YkR6RuAHoEcA>

↓ Googleウェブ
回答フォーム



4. 回答期限

令和4年9月30日（金）※郵送・FAXの場合は必着

5. 調査結果について

調査の結果は、集計後に八潮市のホームページに掲載する予定です。

6. 調査実施主体・問い合わせ

八潮市役所 市民活力推進部 市民協働推進課

所在地：〒340-8588 埼玉県八潮市中央一丁目2番地1

電話：048-996-2111（内線328）

FAX：048-995-7367

メール：shiminkyodo@city.yashio.lg.jp

※本調査は、市民協働推進課及び八潮市市民活動推進委員会が結果の集計・分析を行います。

＜用語の定義＞

市民活動団体：本調査では、NPO法人や、ボランティア、社会問題等の当事者、趣味のサークル活動、地域や社会が抱える課題について自発的・主体的に取り組む団体及び個人を指します。

協働：共通の目的の達成に向けて、立場や活動の異なる個人や団体が対等な立場で協力して取り組むこと。

行政機関：自治体の役所及び官公庁など（市民協働推進課や市内公共施設の窓口を含む）。

公益機関：社会全体の利益や機能向上のために活動する組織など（社会福祉協議会を含む）。

地縁による団体：町会・自治会や子ども会・婦人会など、一定の地域に住む方によって構成される団体。

市民活動支援：やしお生涯学習館の2階に常設されている、市民活動団体等に情報を提供したり、相談に応じ
コーナー 場所。

ボランティア：ボランティア活動をしたい人とボランティアを必要とする人や団体・施設とのコーディネートを行う
センター 組織。

《回収BOX設置先 一覧》

施 設 名		休館日
1	市民協働推進課（八潮市役所2階）	土・日・祝
2	ハ潮メセナ	月（祝日を除く）
3	ハ潮メセナ・アネックス	月（祝日を除く）
4	やしお生涯学習館（1階窓口）	火（祝日の場合はその翌日）
5	市民活動支援コーナー（やしお生涯学習館2階）	火（祝日の場合はその翌日）
6	コミュニティセンター	祝
7	資料館	月（祝日の場合はその翌日）
8	ゆまにて	月・祝
9	文化スポーツセンター	第1・3・5月曜日
10	エイトアリーナ	第2・4月曜日
11	りらーと八幡（公民館）	月（祝日の場合はその翌日）
12	りらーと八条（公民館）	月（祝日の場合はその翌日）
13	リサイクルプラザ	土・日・祝
14	社会福祉協議会・身体障害者福祉センターやすらぎ	祝 ※9月4日（日）臨時休館

八潮市 市民活動状況調査 調査票

団体名について、差し支えなければご記入ください。(団体名は公表されません。)

団体名	
-----	--

選択肢がある設問は、該当する番号又はアルファベットに○をつけてください。

【1】団体の概要について

1.活動形態	1.NPO法人 2.ボランティア団体・個人 3.当事者団体・個人 4.趣味のサークル活動団体・個人 5.その他()				
2.設立年月日	西暦	年	月	日	
3.会員構成	30代以下	40～50代	60～70代	80代以上	合計
	人	人	人	人	人
4.活動分野 (複数回答可)	1.保健・医療・福祉の増進 2.社会教育の推進 3.まちづくりの推進 4.観光の振興 5.環境保全の推進 6.防災・災害救援 7.地域安全・交通安全 8.人権擁護・平和の推進 9.国際交流・国際協力 10.子どもの健全育成 11.情報化社会の発展 12.科学技術の振興 13.農村漁村・中山間地域の振興 14.学術・文化・芸術・スポーツの振興 15.男女共同参画社会の形成 16.職業能力開発・雇用機会拡充 17.経済活動の活性化 18.消費者の保護 19.市民活動の中間支援(相談・援助等) 20.その他()				

【2】活動や運営の状況について

5.活動頻度	回 / 週・月・年			
6.主な活動場所 又は活動場所に最も近い 公共施設	1.日本国内全域 2.埼玉県内全域 3.八潮市内全域 4.コミュニティセンター 5.リサイクルプラザ 6.りらーと八條 7.資料館 8.りらーと八幡 9.やしお生涯学習館 10.八潮メセナ 11.エイトアリーナ 12.ゆまにて 13.八潮メセナ・アネックス 14.地域包括支援センター(東部・西部・南部・北部) 15.身体障害者福祉センターやすらぎ(八潮市社会福祉協議会・ボランティアセンター)			
7.令和3年度の 決算額 (支出総額)	A. 5万円未満 B. 5万円～10万円未満 C. 10万円～50万円未満 D. 50万円～100万円未満 E. 100万円～200万円未満 F. 200万円以上			
8.令和3年度の 予算の財源 (複数回答可)	1.定額・定期的な会費収入 2.寄付金・協賛金 3.助成金・補助金 4.随時、会員から集金 5.個人負担 6.その他()			
9.情報の発信 手段 (複数回答可)	1.情報公開一覧(八潮市及び八潮市社会福祉協議会が協働で作成) 2.チラシ・ポスター 3.ホームページやブログ 4.SNS(Facebook、Twitter等) 5.会報や広報紙(回 / 月・年) 6.情報発信していない 7.その他()			

10.活動の課題となっていること (複数回答可)	1. 会員の高齢化 4. 活動資金の不足 7. 機材・備品の不足 10. 他団体等との連携・情報交換	2. 会員数の減少 5. 活動場所の確保 8. 情報発信・収集 11. その他()	3. 役員の後継者不足 6. 組織運営のノウハウ不足 9. 相談先がない
11.課題解消のために 行った取り組み	自由記述		
12.今後、力を入れて いきたいこと (複数回答可)	1. 会員数の増加 4. 活動内容の見直し	2. 会員の知識や技術の向上 5. 積極的な情報発信	3. 活動の活性化 6. その他()
13.他団体等との連携・ネットワークは必要 だと思いますか	1. とても必要 2. 必要 3. あまり必要でない 4. 必要でない		
「とても必要」「必要」と回答した方へ どのような団体等との連携が必要だ と思いますか (複数回答可)	1. 市民活動団体 2. 地縁による団体 3. 行政機関 4. 公益機関 5. 市民活動支援コーナー 6. ボランティアセンター 7. 民間企業 8. その他()		
14.他団体等との連携・ネットワークを 構築する場合、どのような手段が よいと思いますか (複数回答可)	1. 情報交換や交流の場を作る 2. 連絡網やメーリングリストを作る 3. 公共施設等に掲示板・伝言板を作る 4. インターネット上に掲示板・伝言板サイトを作る 5. その他()		

【3】八潮市の施策などについて

15.「協働」という言葉を知っていますか	1. よく知っており理解している 2. だいたい知っている 3. 聞いたことはあるがよく知らない 4. 全く知らない
16.協働はどの程度重要だと思いますか	1. とても重要 2. 重要 3. あまり重要でない 4. 重要でない
17.他団体等と協働したことはありますか (複数回答可)	1. 市民活動団体と協働したことがある 2. 地縁による団体と協働したことがある 3. 行政機関と協働したことがある 4. 公益機関、民間企業等と協働したことがある 5. 市民活動支援コーナー又はボランティアセンターと協働したことがある 6. 協働したことはない
「協働したことがある」方へ 協働によってどのような効果が得られましたか	自由記述
18.今後、市と協働したいと思いますか (複数回答可)	1. イベントや祭りの開催等で協働したい 2. 講演会や研修会等で協働したい 3. 上記以外の事業で協働したい(内容:) 4. 協働したいと思わない

19.今後、市と協働する場合、市にどのような協力を希望しますか (複数回答可)	1. 会場の確保 2. 広報協力 3. 備品の貸出し 4. 人員協力 5. 助成金等の財政的な支援 6. 相談・助言 7. その他()
20.「協働のまちづくり推進事業助成金」を知っていますか	1. 知っており申請したことがある 2. 知っているが申請したことがない 3. 全く知らない
「知っているが申請したことがない」と回答した方へ 申請しなかった理由は何ですか (複数回答可)	1. 書類手続きが煩雑だから 2. 助成額が低いから 3. プレゼンテーションが得意ではないから 4. 別の補助金等の財政的支援を受けており、助成の対象外となるから 5. その他()
21.「協働のまちづくり推進事業助成金」以外の補助金・助成金等を申請したことはありますか	1. 申請したことがある(名称:) 2. 申請したことはない

【4】市民活動支援コーナー(以下「支援コーナー」)について

22.支援コーナーを知っていますか	1. 知っており利用したことがある 2. 知っているが利用したことがない 3. 全く知らない
「知っており利用したことがある」と回答した方へ 利用目的は何ですか (複数回答可)	1. 相談のため 2. 事務機器の貸出し 3. 市民団体活動室の利用 4. フリースペースの利用 5. 情報収集・発信のため 6. その他()
「知っているが利用したことがない」と回答した方へ 支援コーナーを利用しない理由は何ですか(複数回答可)	1. 利用方法がわからない 2. 時間の都合が合わない 3. 利用したい機能がない 4. 活動場所から遠い 5. 利用する必要がある 6. その他()
23.今後、支援コーナーで力を入れてほしいことはありますか (複数回答可)	1. 情報の提供・発信 2. 活動の場の提供 3. 講座・研修の開催 4. 助成金等の財政的な支援 5. 利用時間の延長 6. コーディネーターの拡充・育成 7. 備品の拡充() 8. その他()
24.活動を活性化するため、支援コーナーで開催してほしい講座はありますか (複数回答可)	1. 情報発信に関する講座 2. 活動資金に関する講座 3. インターネットの活用に関する講座 4. 市民活動の魅力を伝える講座 5. 組織運営・人材育成に関する講座 6. NPO法人の設立に関する講座 7. 協働の手法に関する講座 8. その他()

【5】新型コロナウイルス感染症の流行による影響について

25.活動にどのような影響がありましたか (複数回答可)	1.活動を継続するために工夫した 2.活動の見通しが立たず停滞した 3.活動場所が確保できなかった 4.財政状況が苦しくなった 5.活動を行う人材が確保できなかった 6.組織を維持することが困難になった 7.他団体等と、連携・交流ができなかった 8.影響はなかった 9.その他()
「活動を継続するために工夫した」と回答した方へ 具体的にどのような工夫をしましたか (複数回答可)	1.対面で行っていた活動をオンライン化した 2.活動内容(会議の頻度等)を見直した 3.その他()
26.コロナ禍での活動について、どこかに 相談しましたか (複数回答可)	1.市民活動団体 2.地縁による団体 3.行政機関 4.公益機関 5.支援コーナー 6.ボランティアセンター 7.民間企業 8.相談しなかった 9.その他()
27.コロナ禍が続く中、どのような支援が 必要ですか (複数回答可)	1.活動の継続に関する相談窓口の設置 2.情報発信スキルの向上(SNSの利用等) 3.情報機器操作スキルの向上(パソコンの操作等) 4.コロナ対策備品の館内貸出し(パーテーション等) 5.団体間ネットワークの構築 6.助成金等の財政的な支援 7.その他()
28.コロナ禍が続く中、貴団体は 現在、どのような状況ですか (複数回答可)	1.困難な状況が継続している 2.困難な状況が解消されつつある 3.コロナ禍による影響はなかった 4.その他()

【6】市民活動の支援などについて、ご意見がありましたらご記入ください。

自由記述

～調査は以上です。ご協力ありがとうございました。～

八潮市市民活動状況調査報告書 令和5年1月

編集 八潮市 市民活動推進委員会

問合せ 事務局：八潮市 市民活力推進部 市民協働推進課
〒340-8588
埼玉県八潮市中央一丁目2番地1
電 話 048-996-2111（代表）
メー ル shiminkyodo@city.yashio.lg.jp